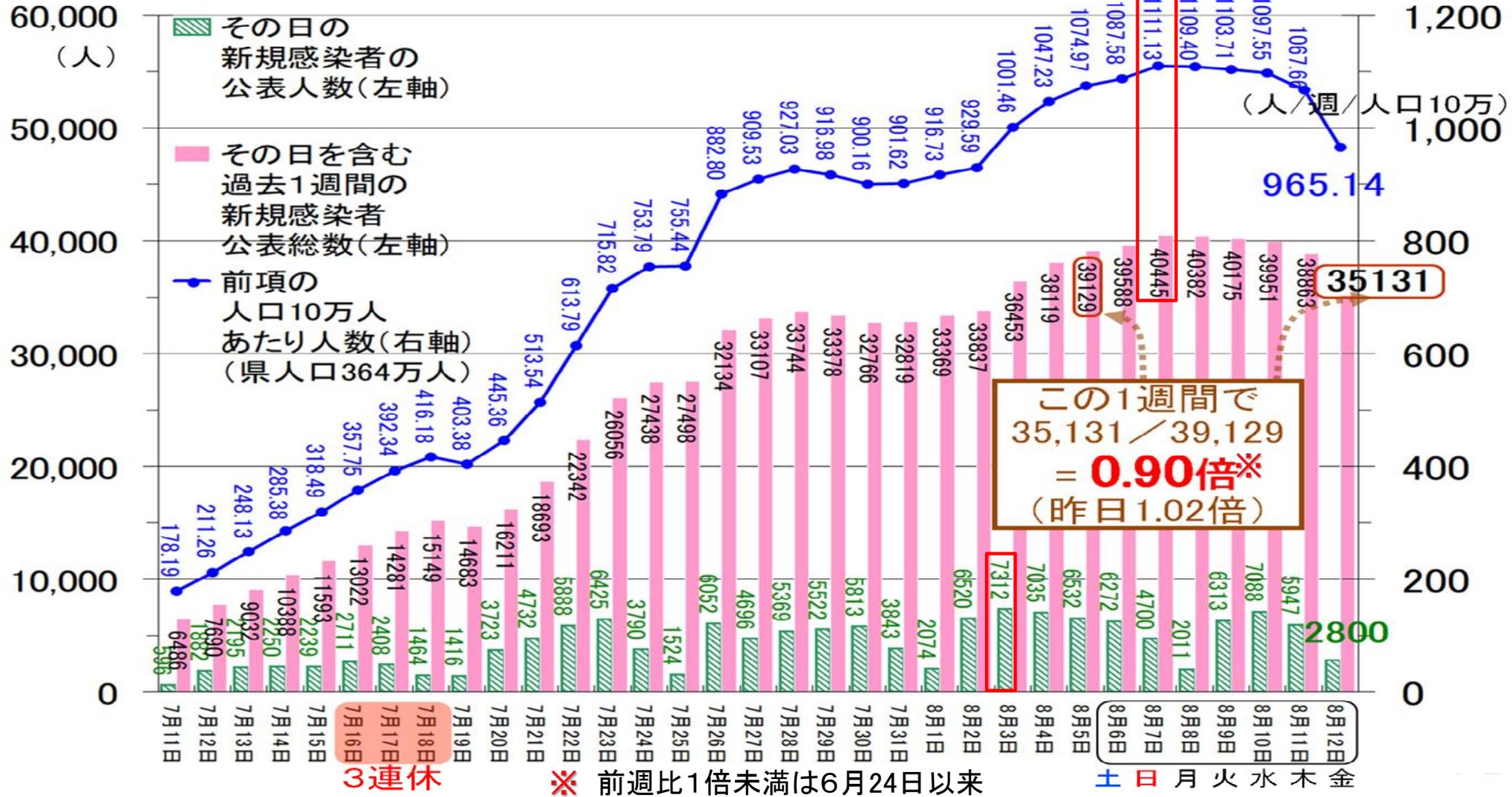


静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2022年8月12日時点)



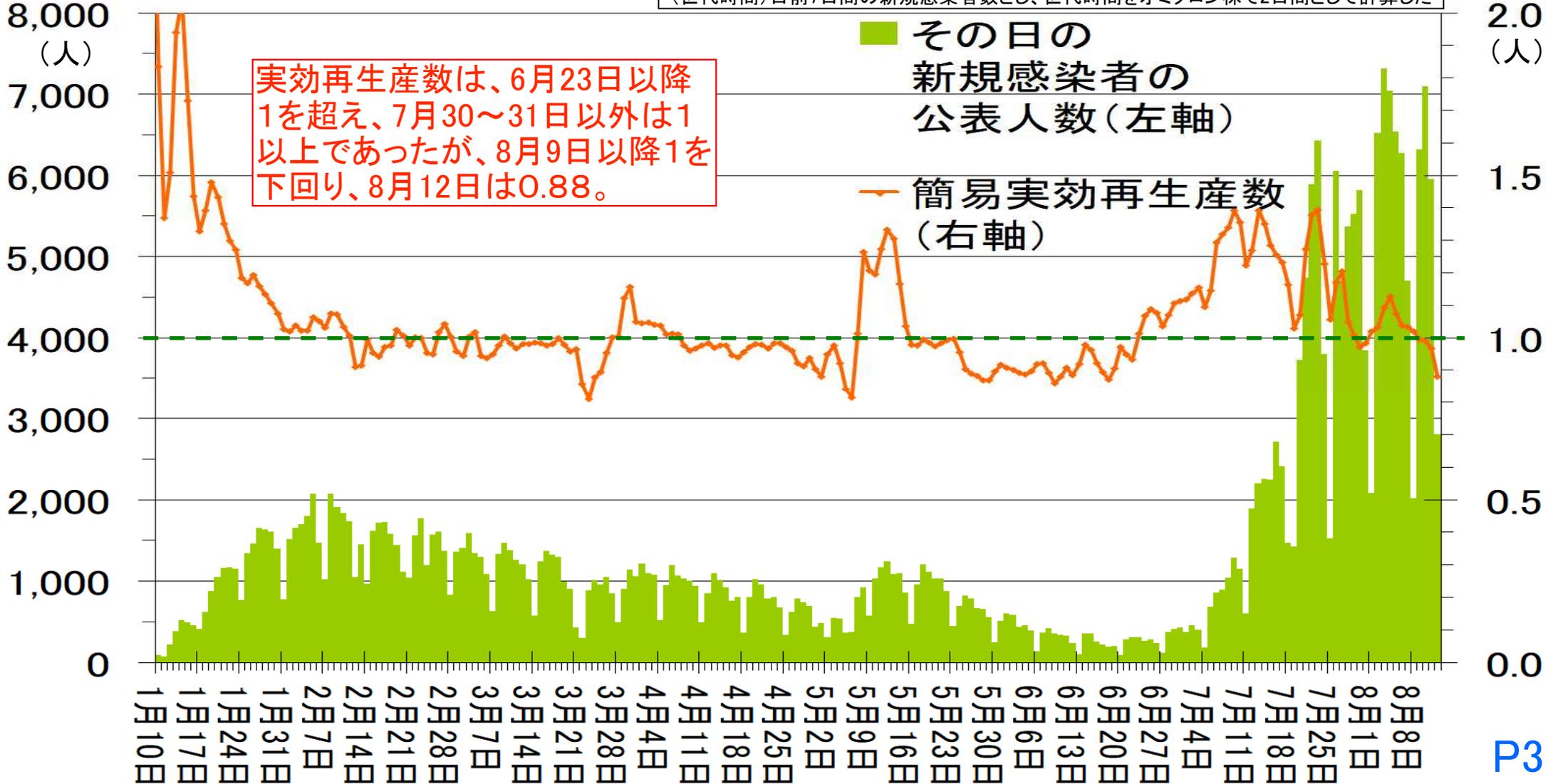
静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

静岡県の直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

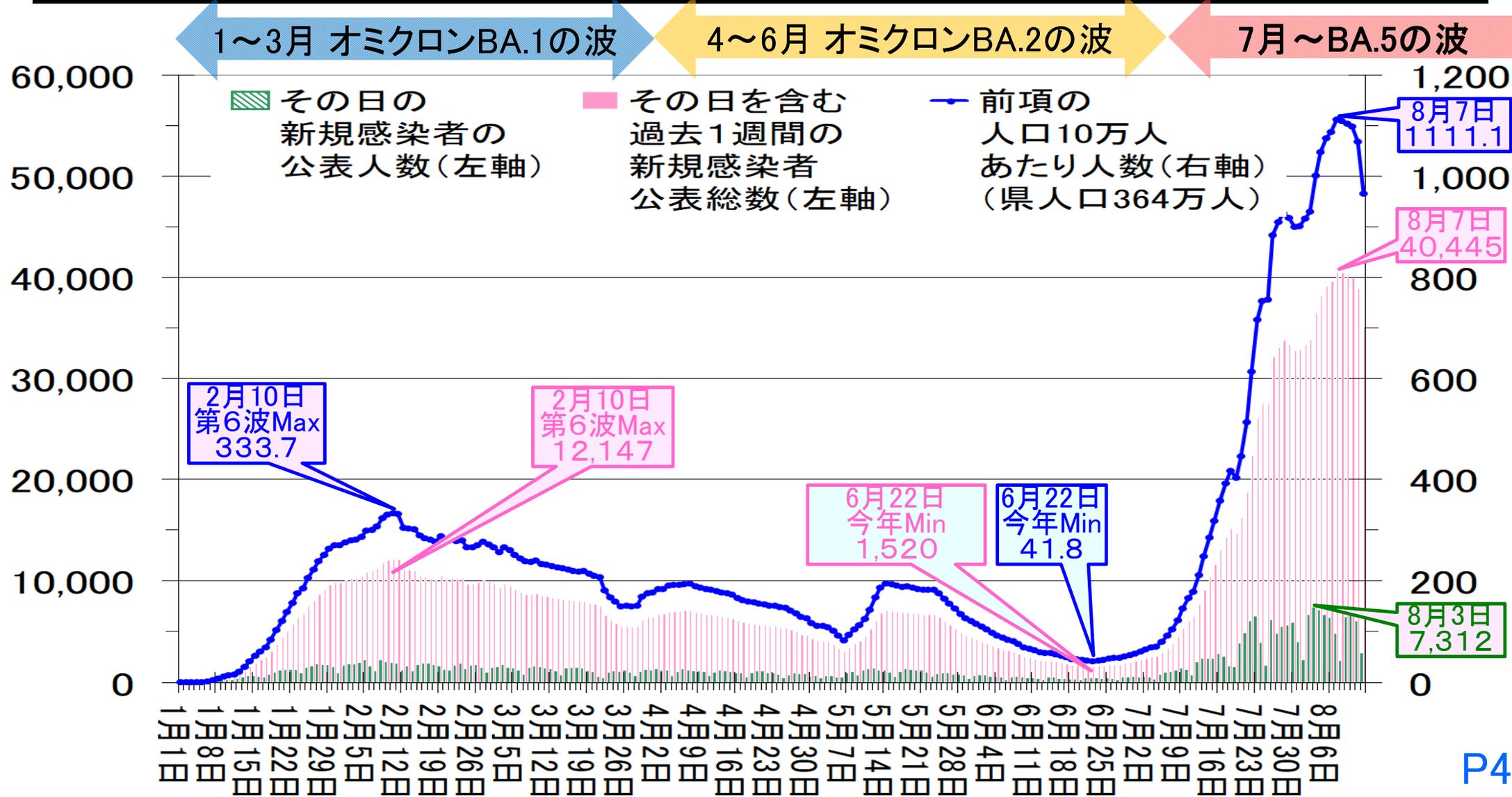


静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数(1/10~8/12)

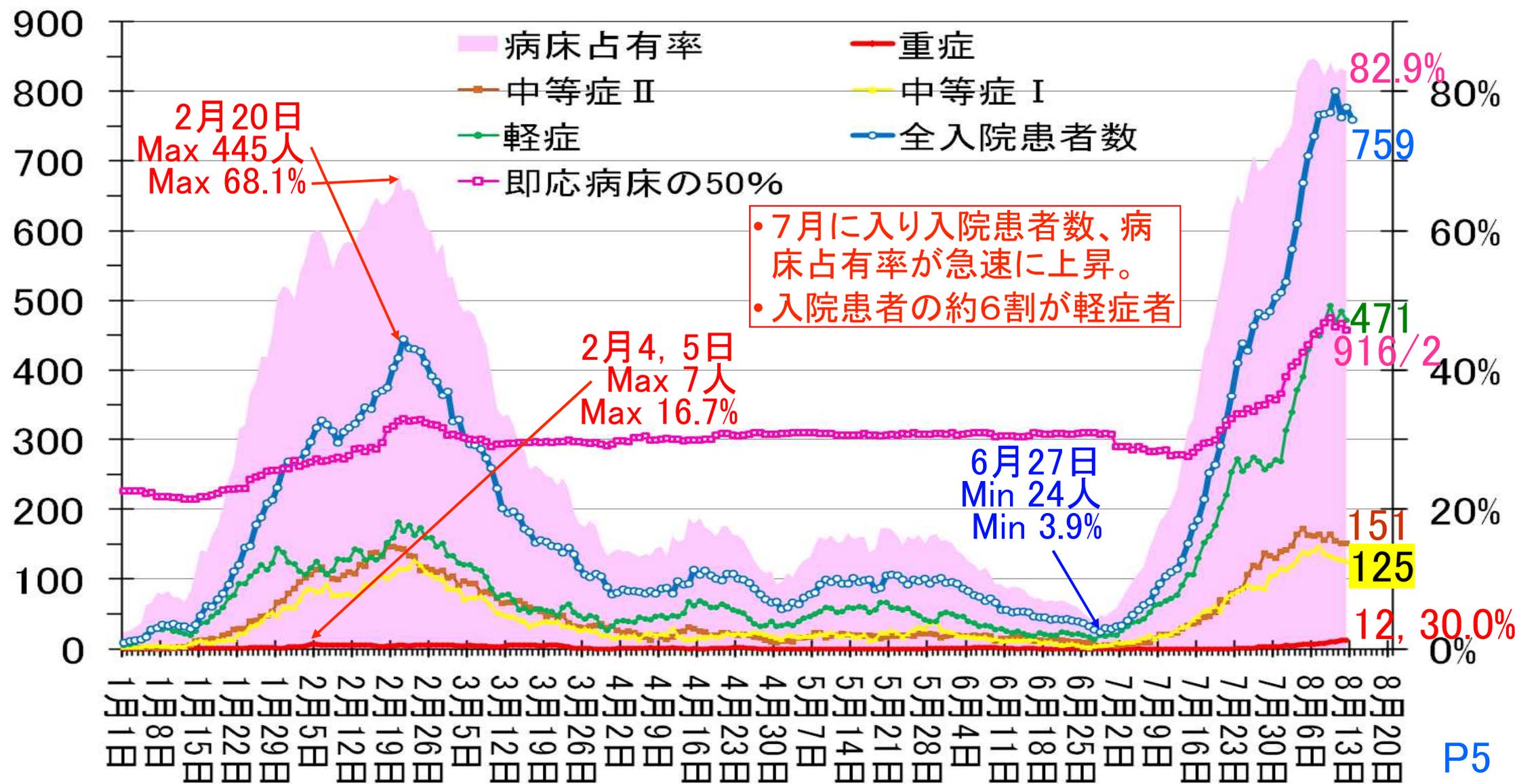
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



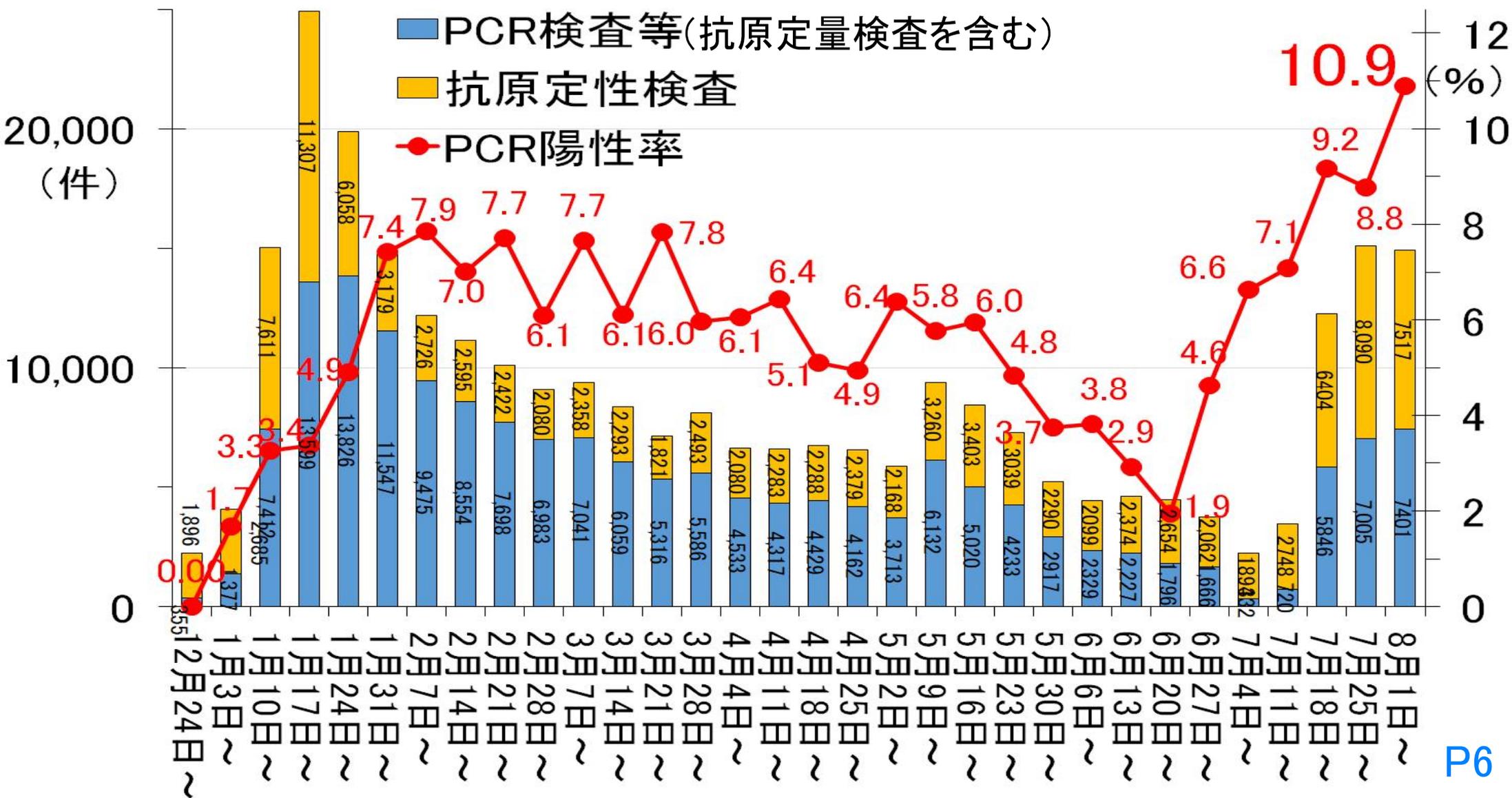
静岡県第6波以降 これまでの全体像(1/1~8/12)



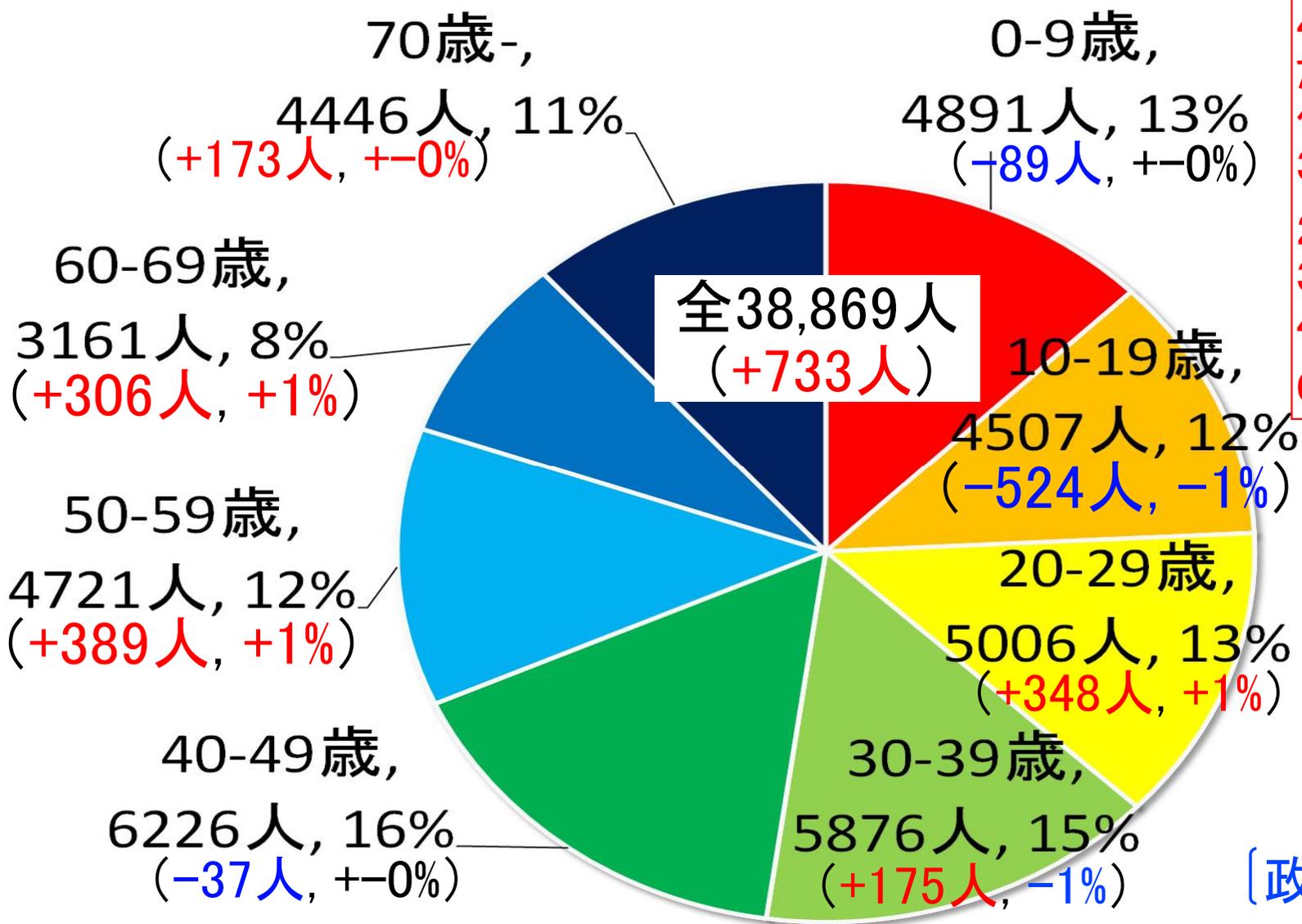
静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(1/1~8/12)



静岡県 無料検査の検査件数と陽性率(2021.12/24~2022.8/7)



静岡県直近の年齢別感染者数・割合(8/5~11)



40歳代が16%で最多だが、人数増加は20歳代、50歳代、60歳代が300人台増加。

20歳代以下は約40%
30歳代以下は約50%
40歳代以下は約70%。
60歳以上は約20%。

(+-〇〇人, +-□%)
は前週との増減

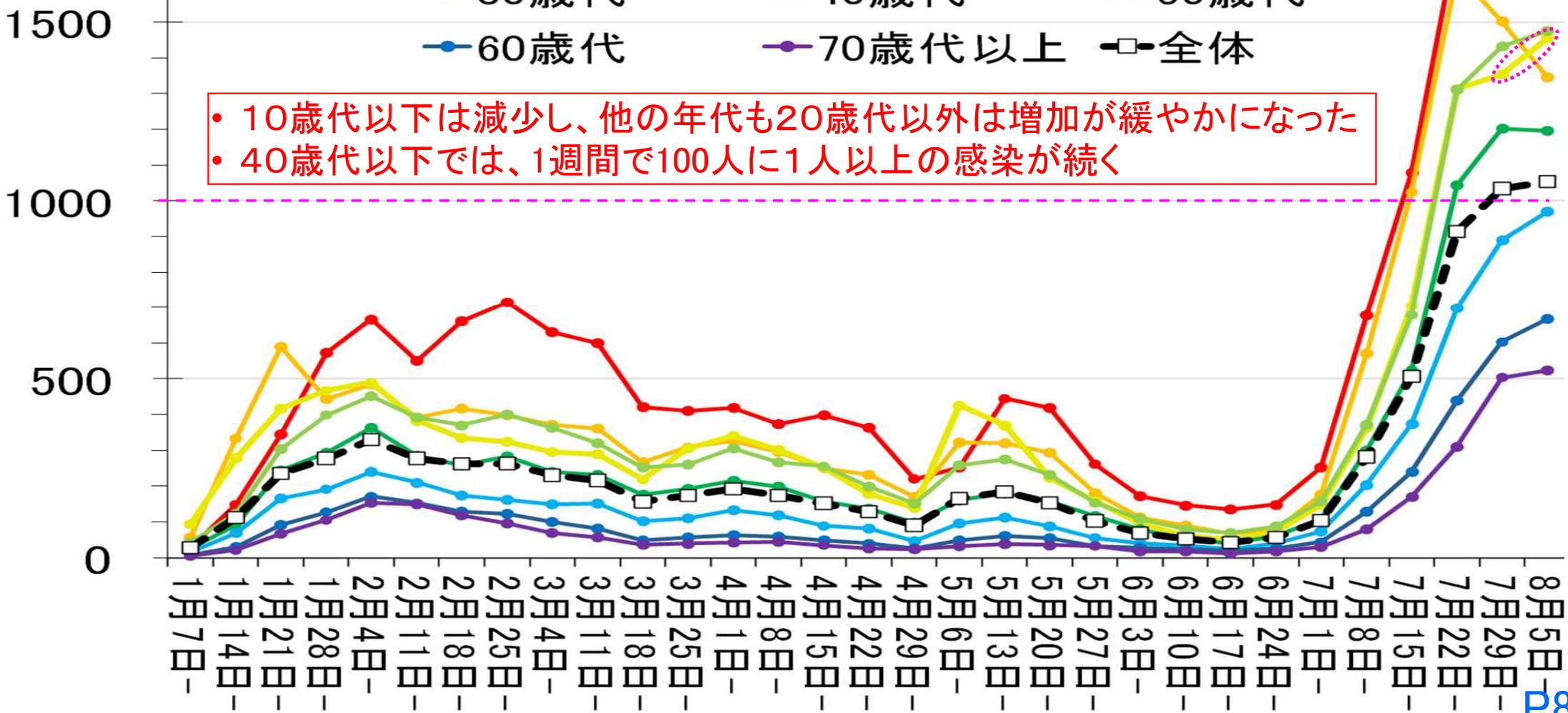
[政令市を含む全県] P7

静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数(1/7~8/11)

〔政令市を含む全県〕
(人/週/人口10万)

- 10歳未満
- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上
- 全体

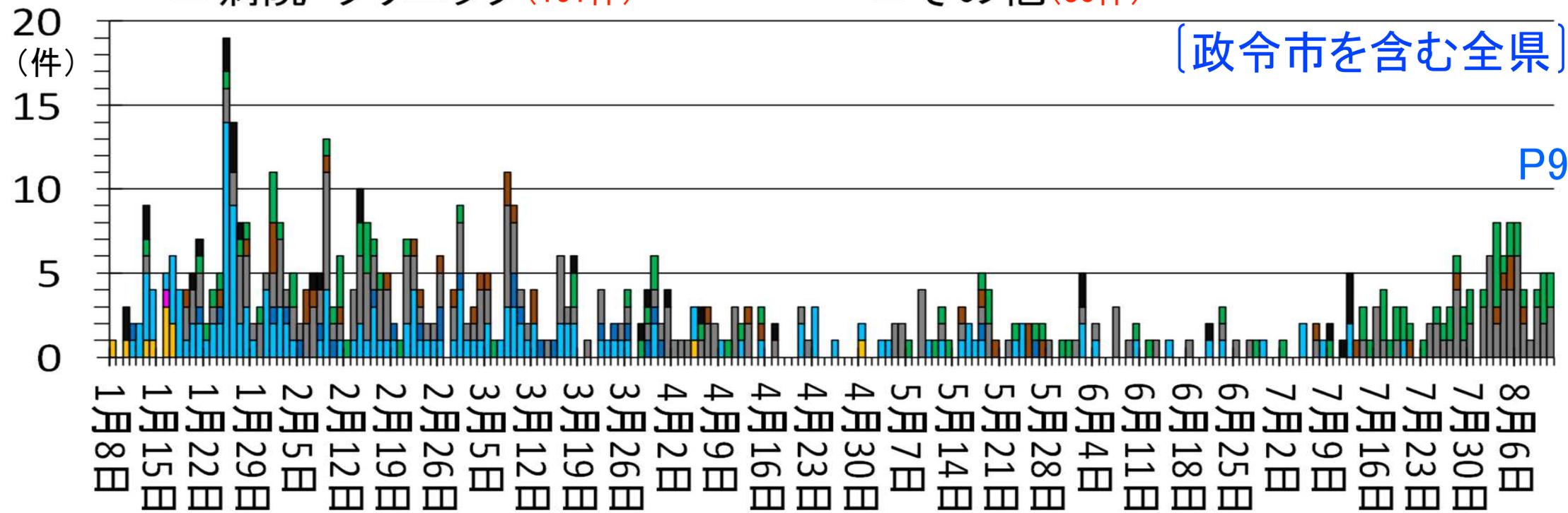
- 10歳代以下は減少し、他の年代も20歳代以外は増加が緩やかになった
- 40歳代以下では、1週間で100人に1人以上の感染が続く



静岡県 感染者集団(クラスター)の種類と件数(1/8~8/11)

全600件中、高齢者施設が219件(37%)で最多
次いで、学校・保育施設が169件(28%)で多く、次に病院・クリニックが101件(17%)

- 住宅等での知人との会食(11件)
- 接待を伴う飲食店(1件)
- 学校・保育施設(169件)
- 事業所・工場(27件)
- 高齢者施設(219件)
- 高齢者以外の福祉施設(42件)
- 病院・クリニック(101件)
- その他(30件)

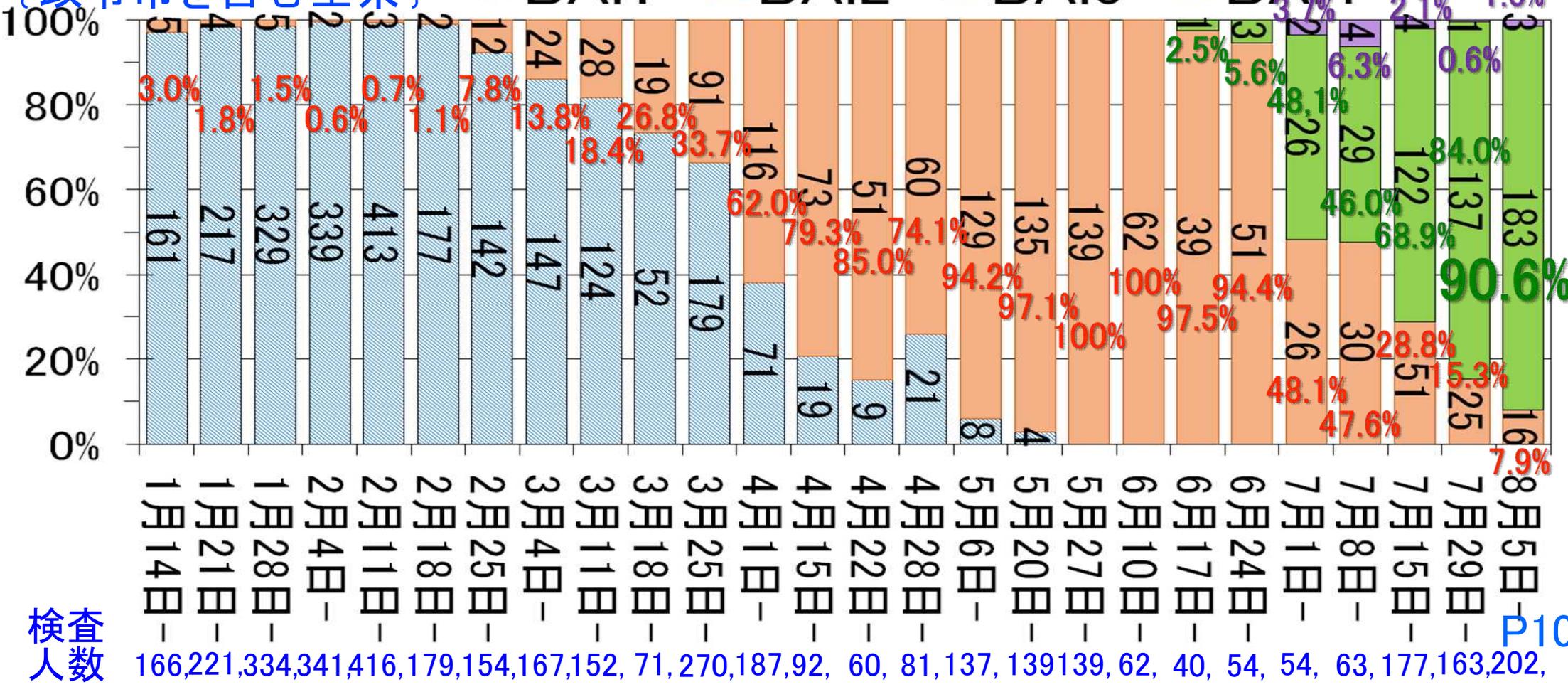


オミクロン株BA.1とBA.2の割合の推移（1/14～8/11）

オミクロン株全体の中でBA.2が占める割合は、2月下旬より増加し始めて、5月上旬に90%台となり、5月末より100%となり、6月中旬よりBA.5が検出され直近で約90%。

〔政令市を含む全県〕

■ BA.1 ■ BA.2 ■ BA.5 ■ BA.4

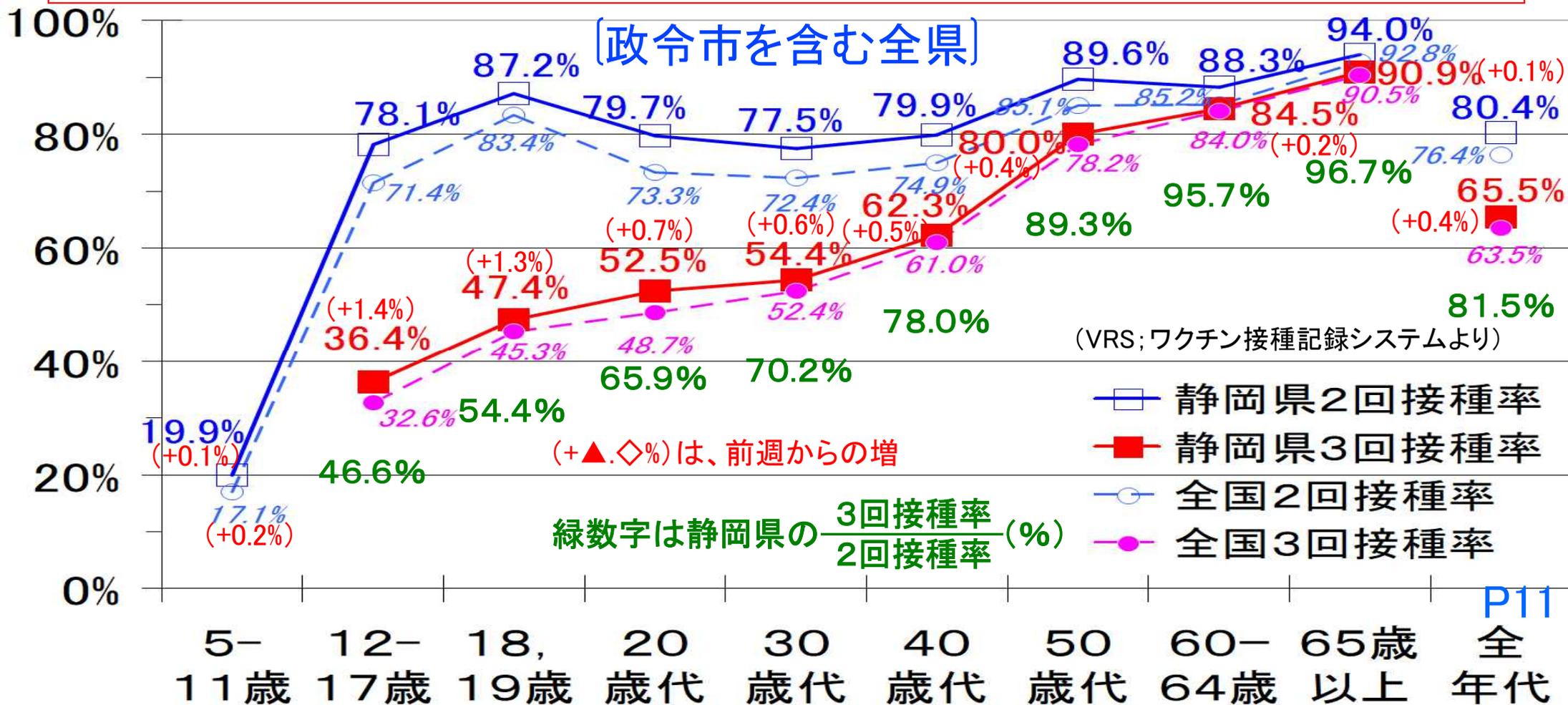


検査人数

P10

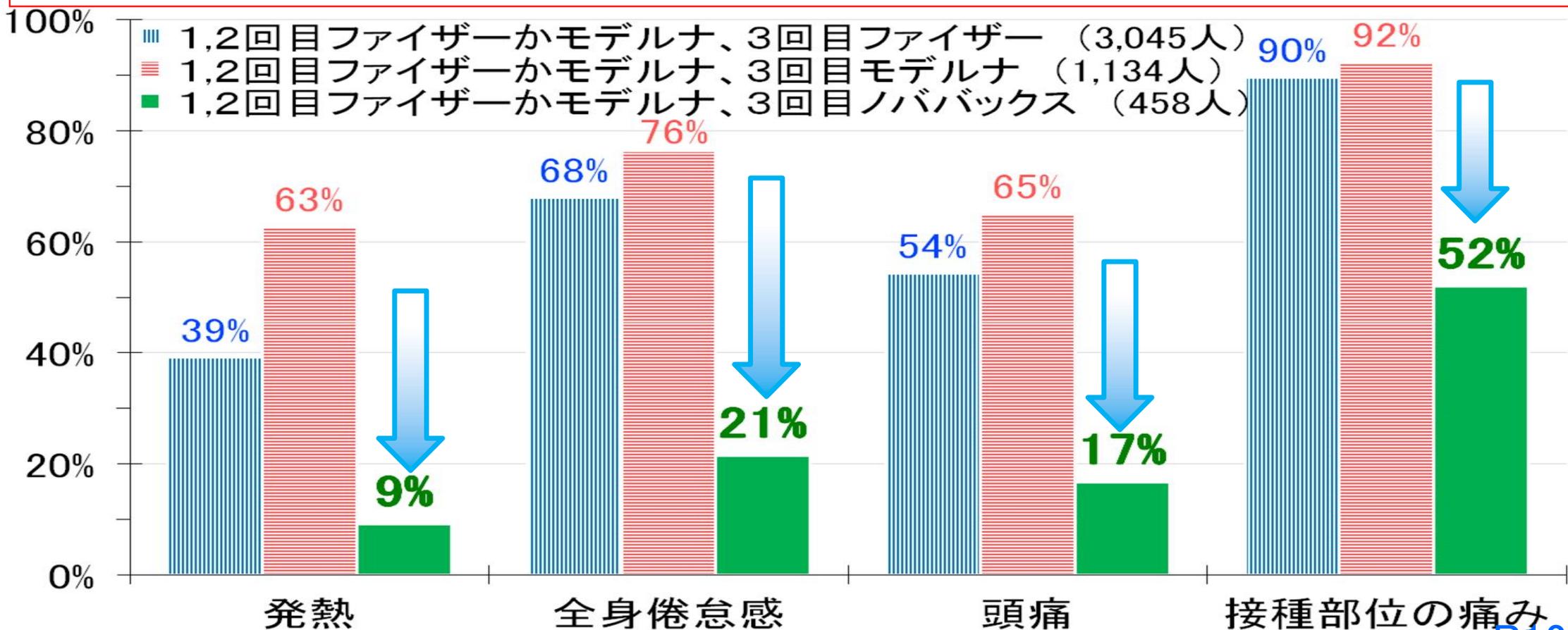
県と国 コロナワクチン2,3回目年代別接種率（8/8時点）

- ・県の3回接種率は、50歳以上は80%以上、40歳代62%、30歳代54%、20歳台も50%を超えたが、18,19歳は40%台、12～17歳は30%台。5～11歳の2回接種は20%を超えたが、
- ・県の3回接種率を全国と比べると、各年代で全国より高い(0.4～3.8ポイント高い)。



ノババックス ワクチン3回目接種後の副反応頻度(8/8時点)

- ファイザーやモデルナワクチンの2回接種後、静岡県の大規模接種会場で3回目にノババックスワクチンを接種した方へ副反応の状況を調査させていただき、458人に回答をいただいた時点(8/8)で結果をまとめた。
- 458人のうち2回目後の副反応に比べ、3回目ノババックス後の副反応の方がつらかった人は15人のみだった。
- ファイザーやモデルナの3回目接種後の副反応調査結果と比べて、ノババックス3回目は副反応が少なかった。



(順天堂大学コロナワクチン研究事務局のデータ 及び 静岡県新型コロナ対策推進課調べ より)

静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 60歳以上(6/13~8/8)

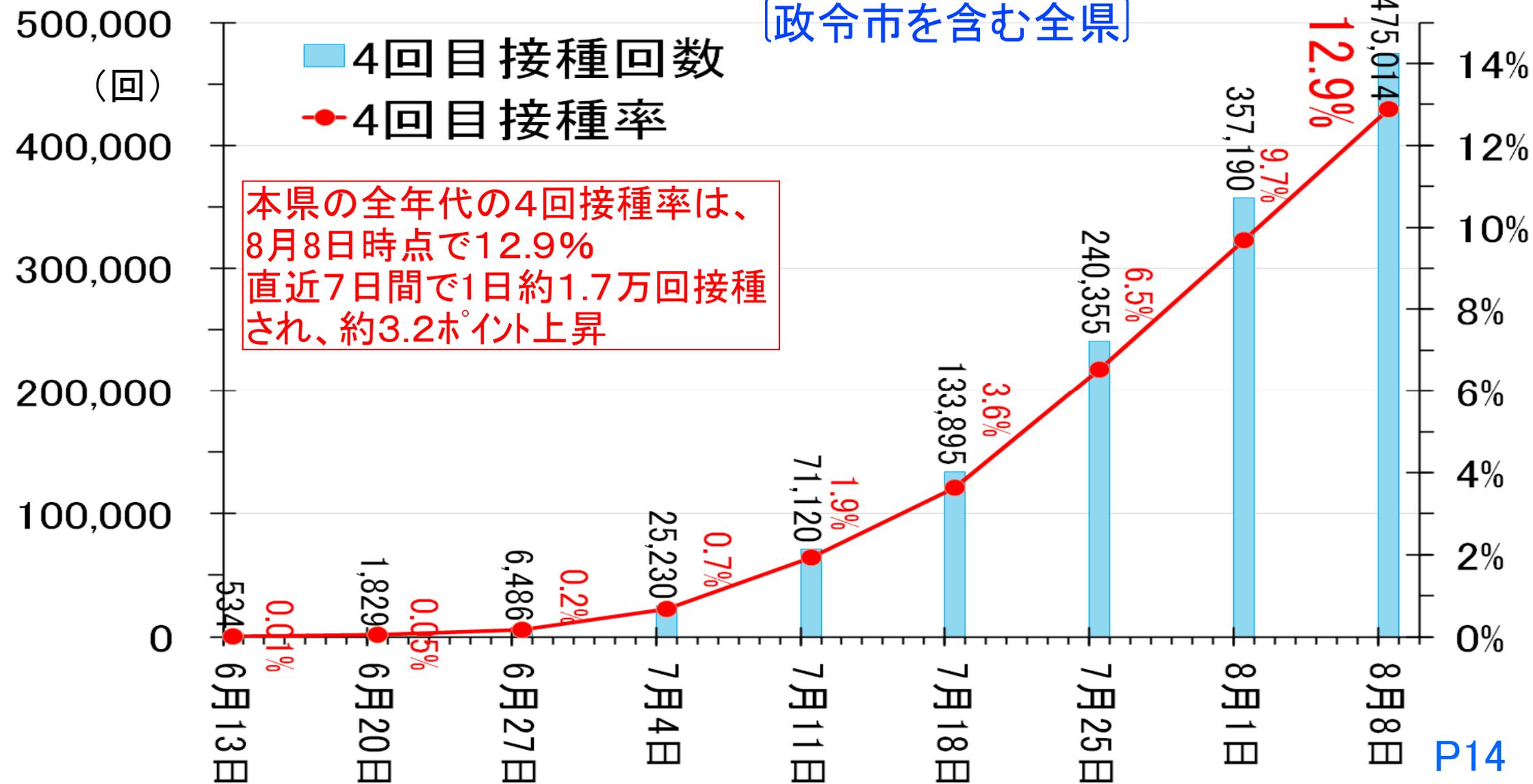
(対象者約132.1万人)

[政令市を含む全県]



静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 全年代(6/13~8/8)

[政令市を含む全県]

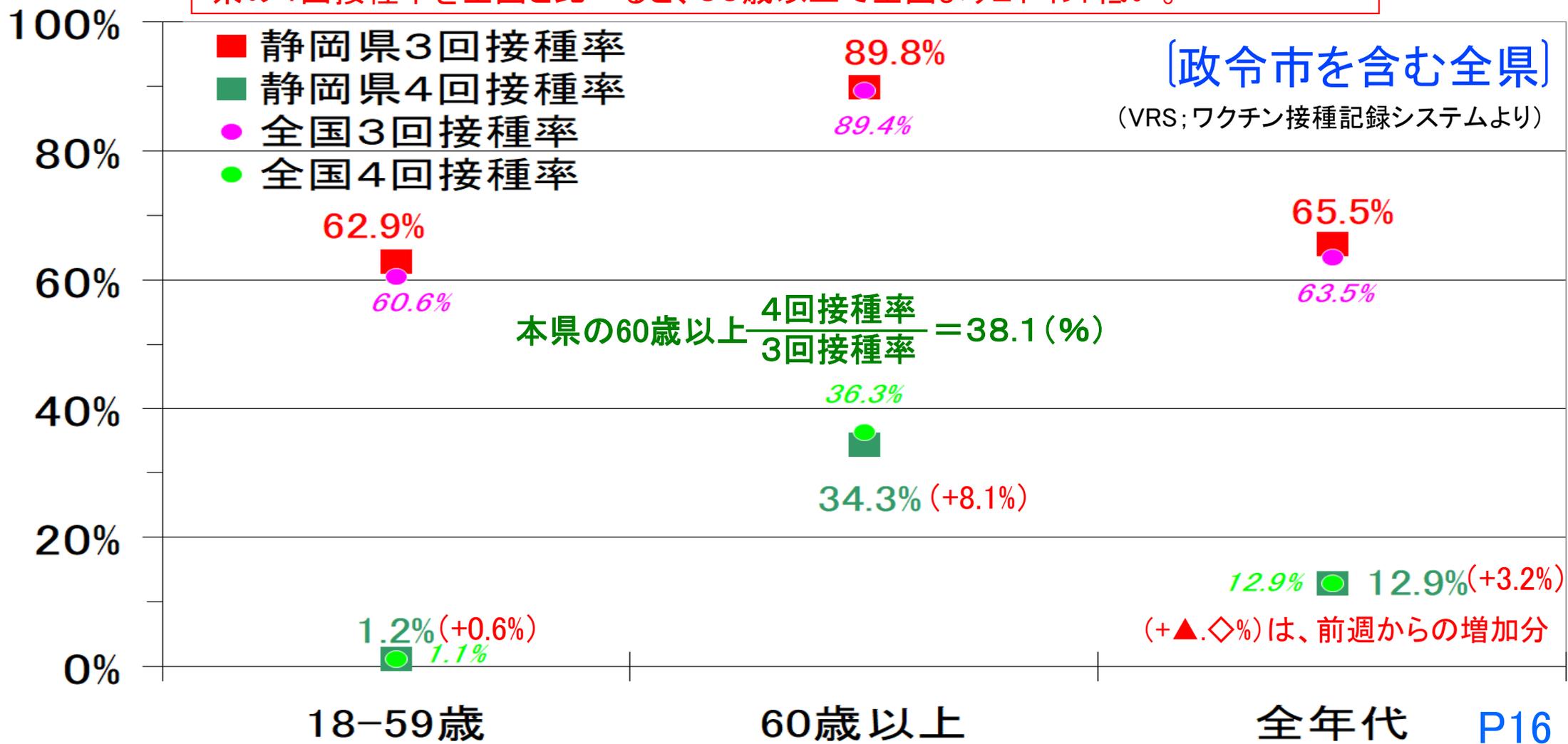


静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 18～59歳(6/13～8/8)



県と国 コロナワクチン4回目年代別接種率（8/8時点）

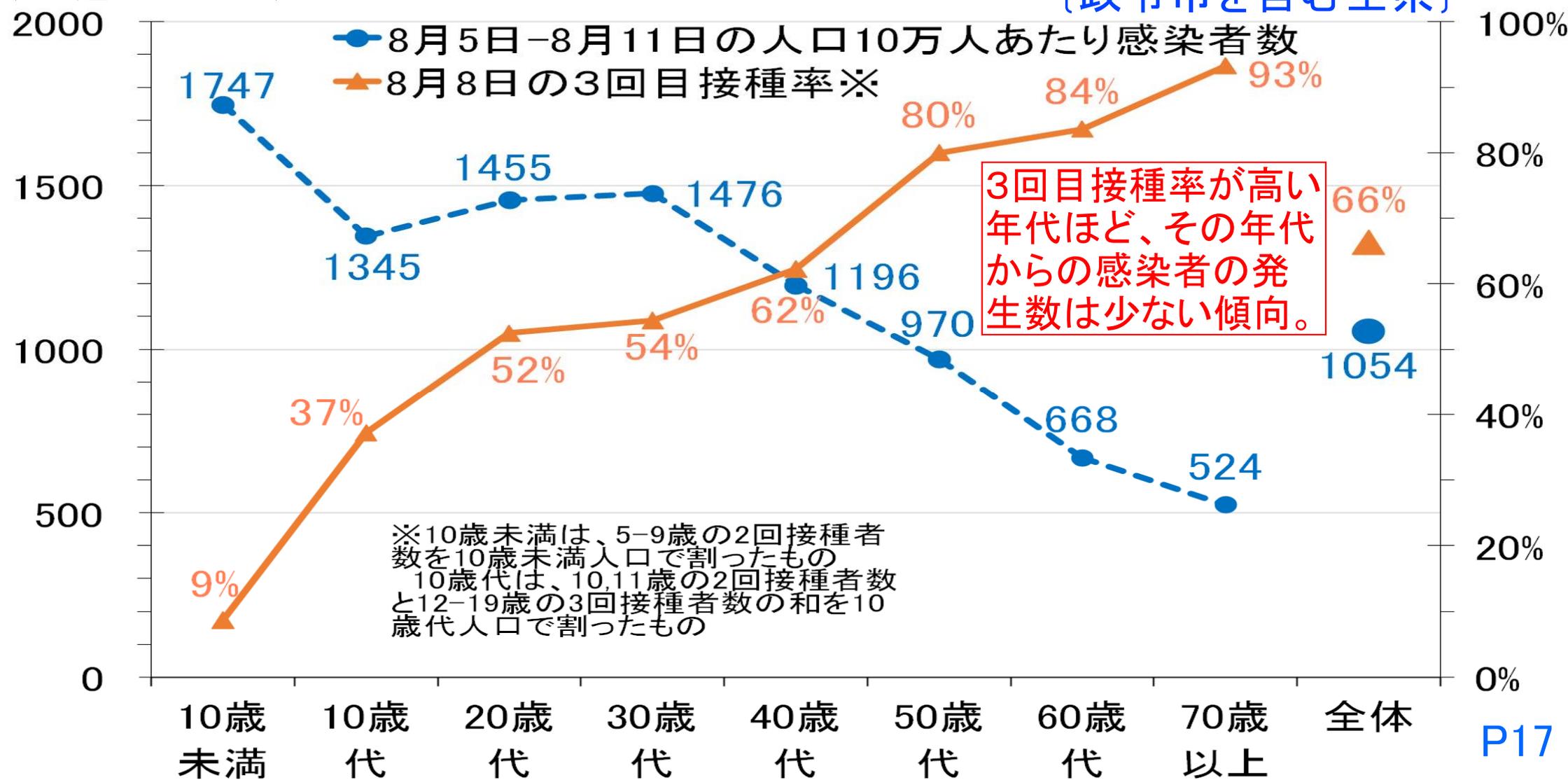
- ・県の4回接種率は、60歳以上で約34%台、18～59歳で1.2%、全年代で12.9%。
- ・県の4回接種率を全国と比べると、60歳以上で全国より2ポイント低い。



静岡県 年代別 3回目接種率と人口10万人あたり1週間感染者数 (8/5~11)

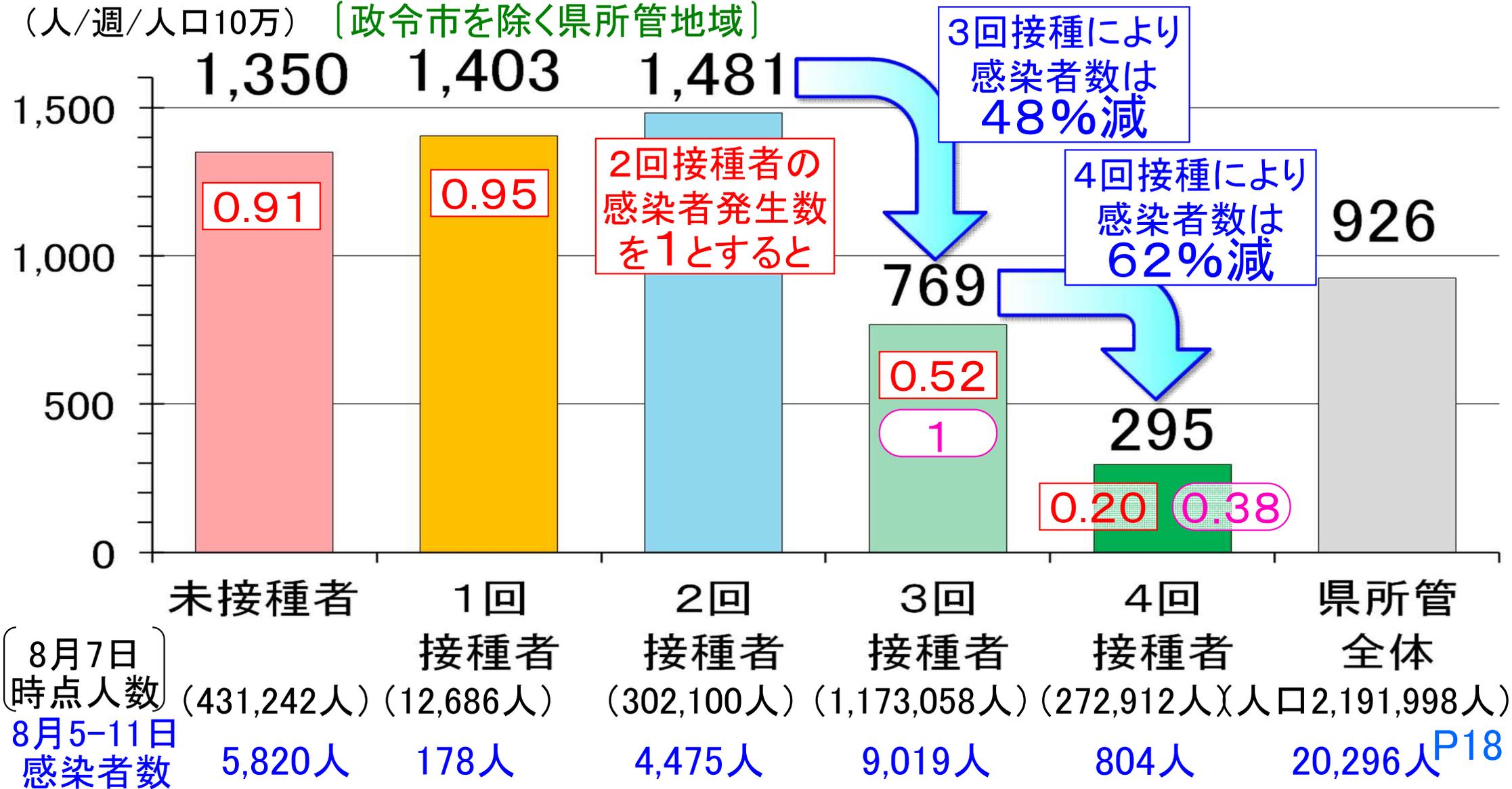
(人/週/人口10万)

〔政令市を含む全県〕



ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (8/5~11)

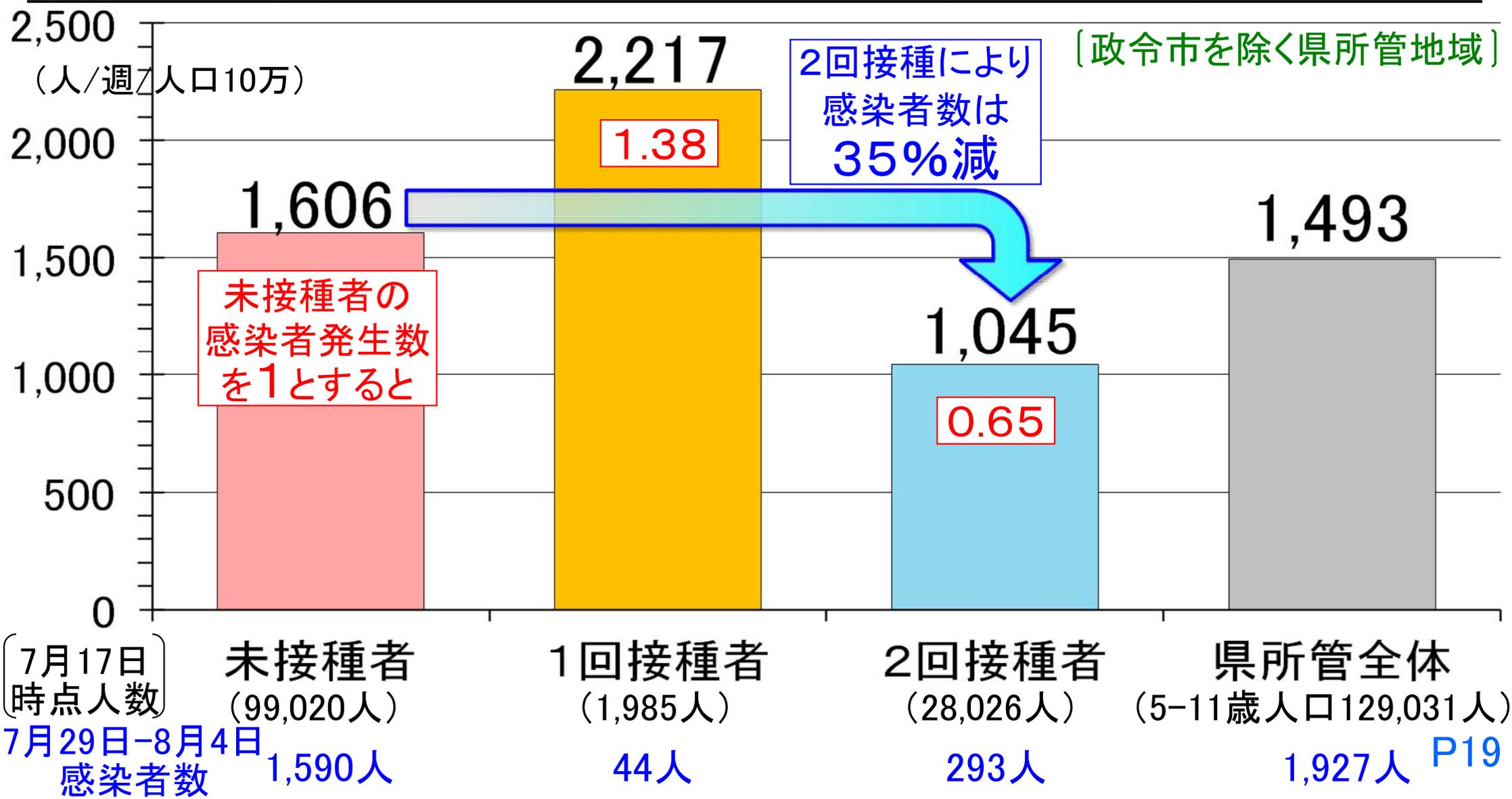
(人/週/人口10万) [政令市を除く県所管地域]



8月7日
時点人口
8月5-11日
感染者数

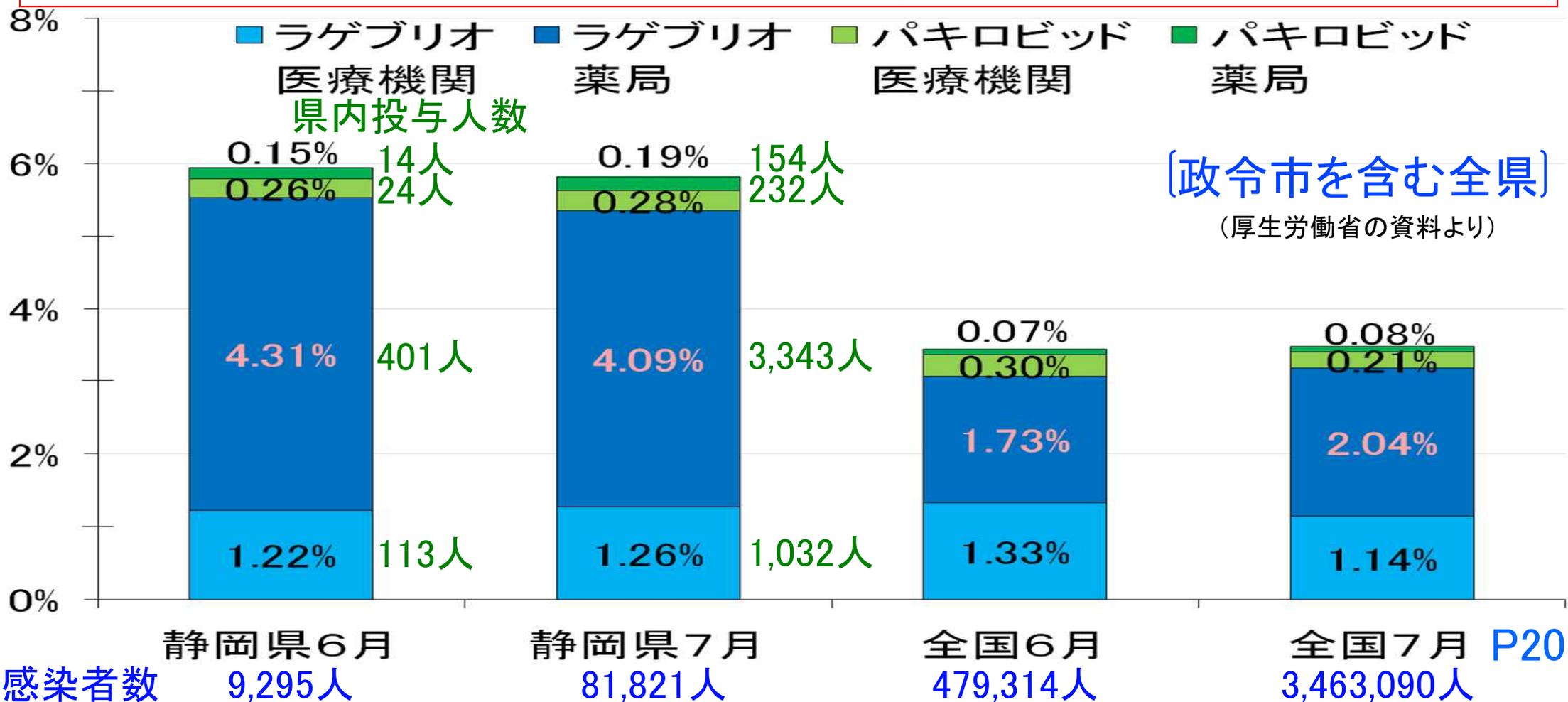
P18

小児ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (8/4~11)

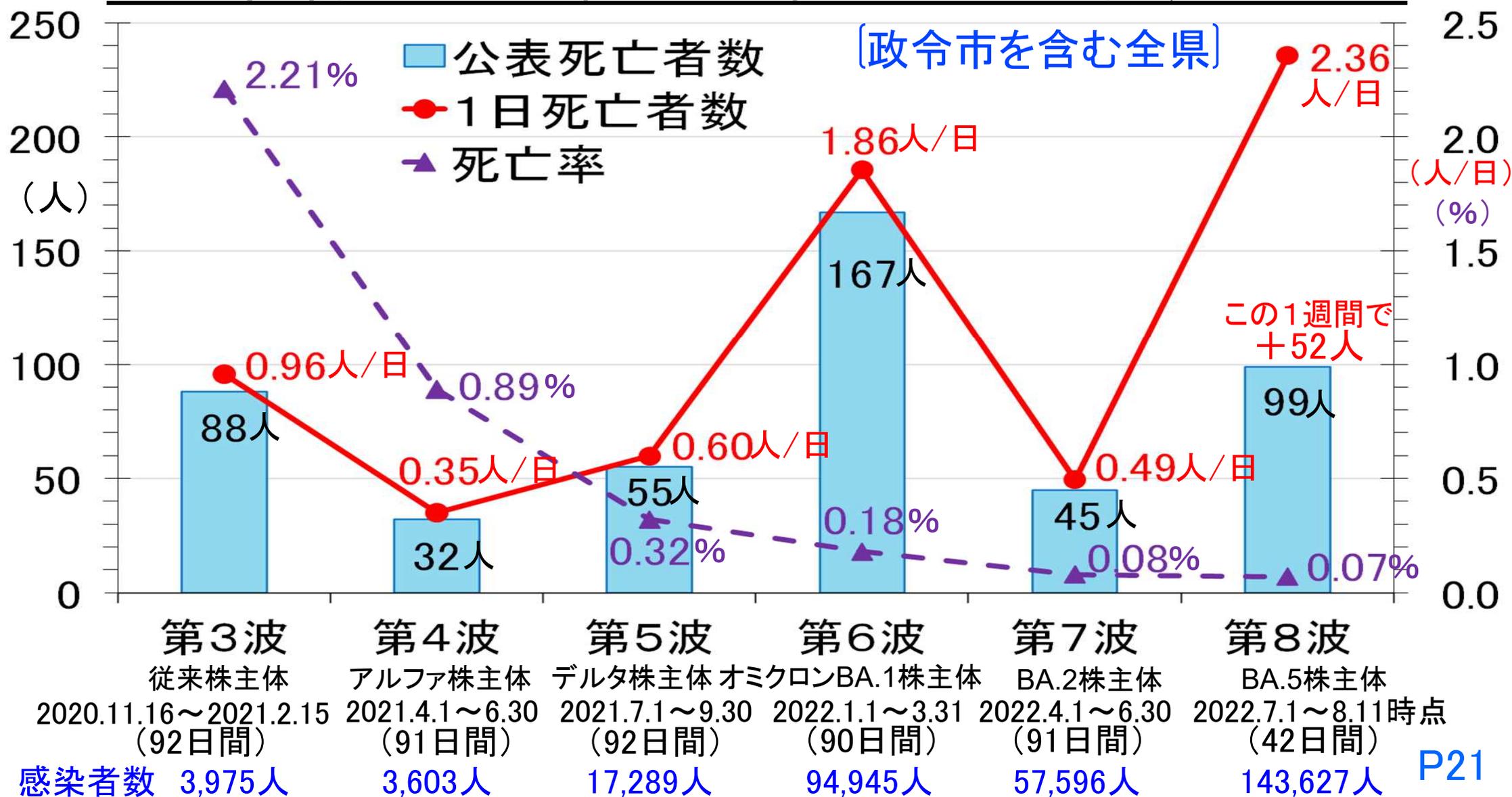


県と国 内服抗ウイルス薬の投与率（6月、7月）

- ・県と全国で各月の各薬剤の投与人数を各月の新規感染者数で除した%で示した。
- ・7月の処方人数は、感染者数増加により6月と比べてラゲブリオで約10倍、パキロビッドで約8.5倍増加した。
- ・静岡県は、診療所でのラゲブリオの処方が全国と比べて多く、投与率を押し上げている。



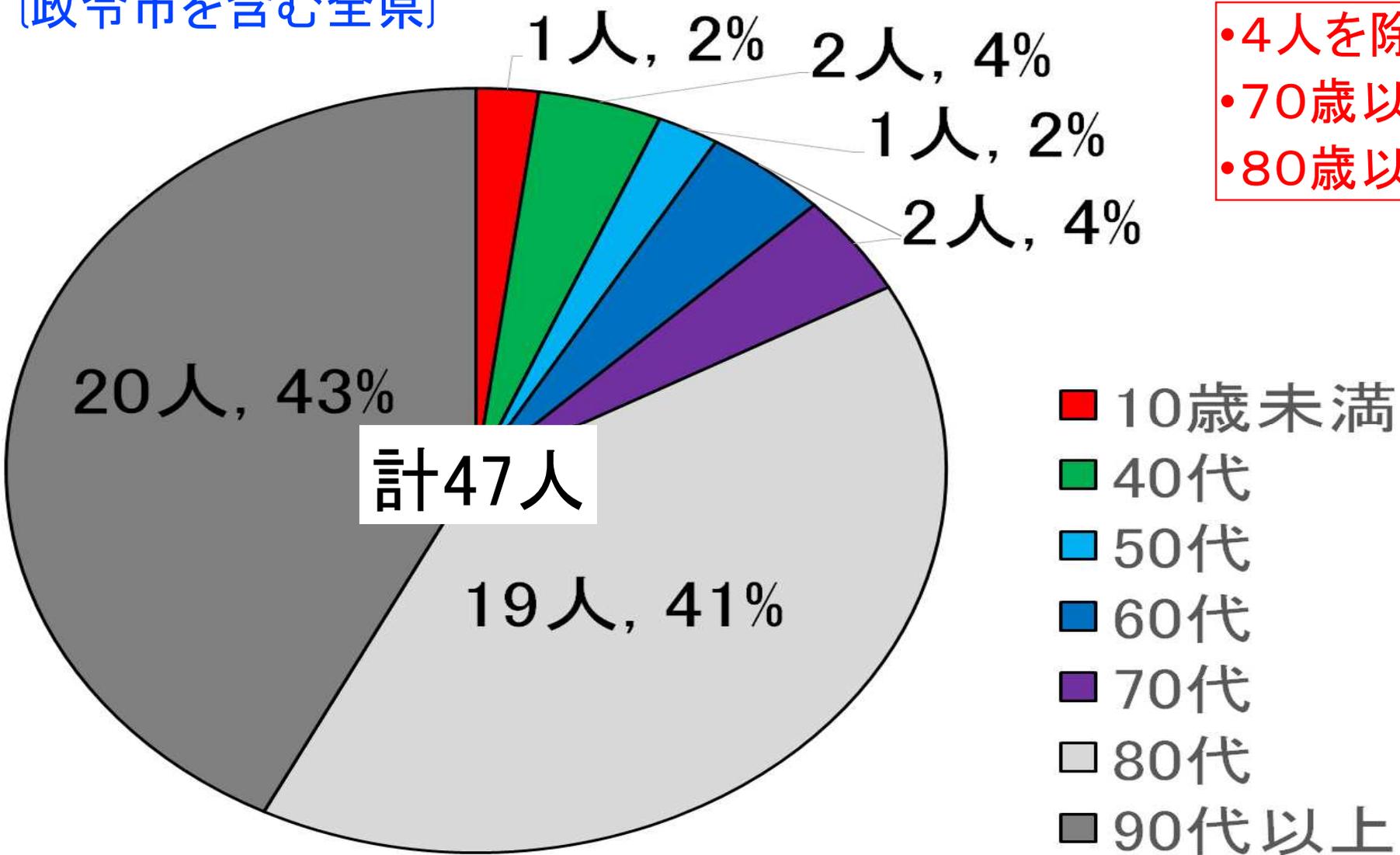
静岡県 新型コロナ第3波～第8波の死亡者数(～8/11)



静岡県 新型コロナBA.5波の死亡者の年齢分布(7/1~8/4)

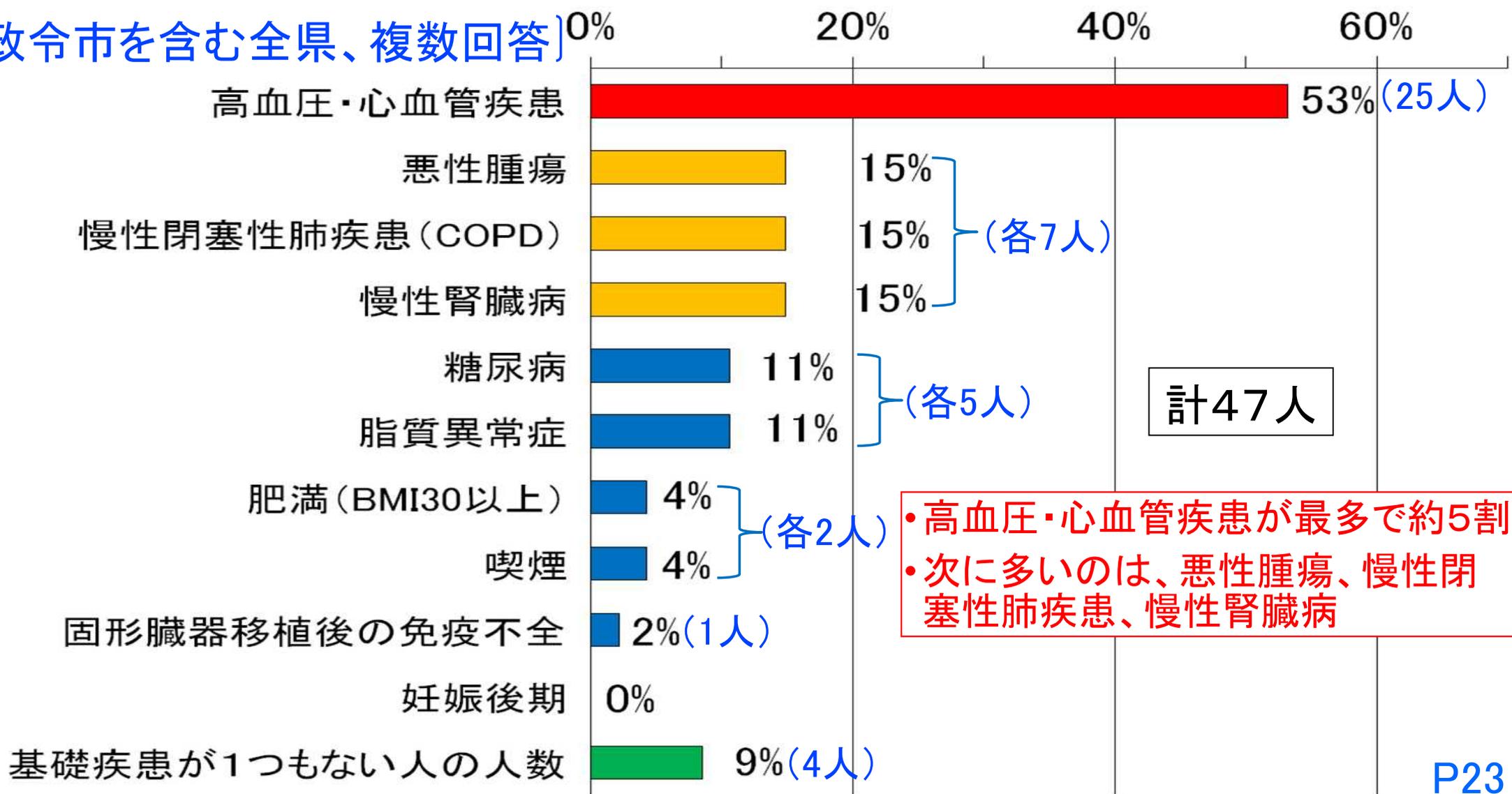
[政令市を含む全県]

- 4人を除き60歳以上
- 70歳以上が約90%
- 80歳以上が約80%



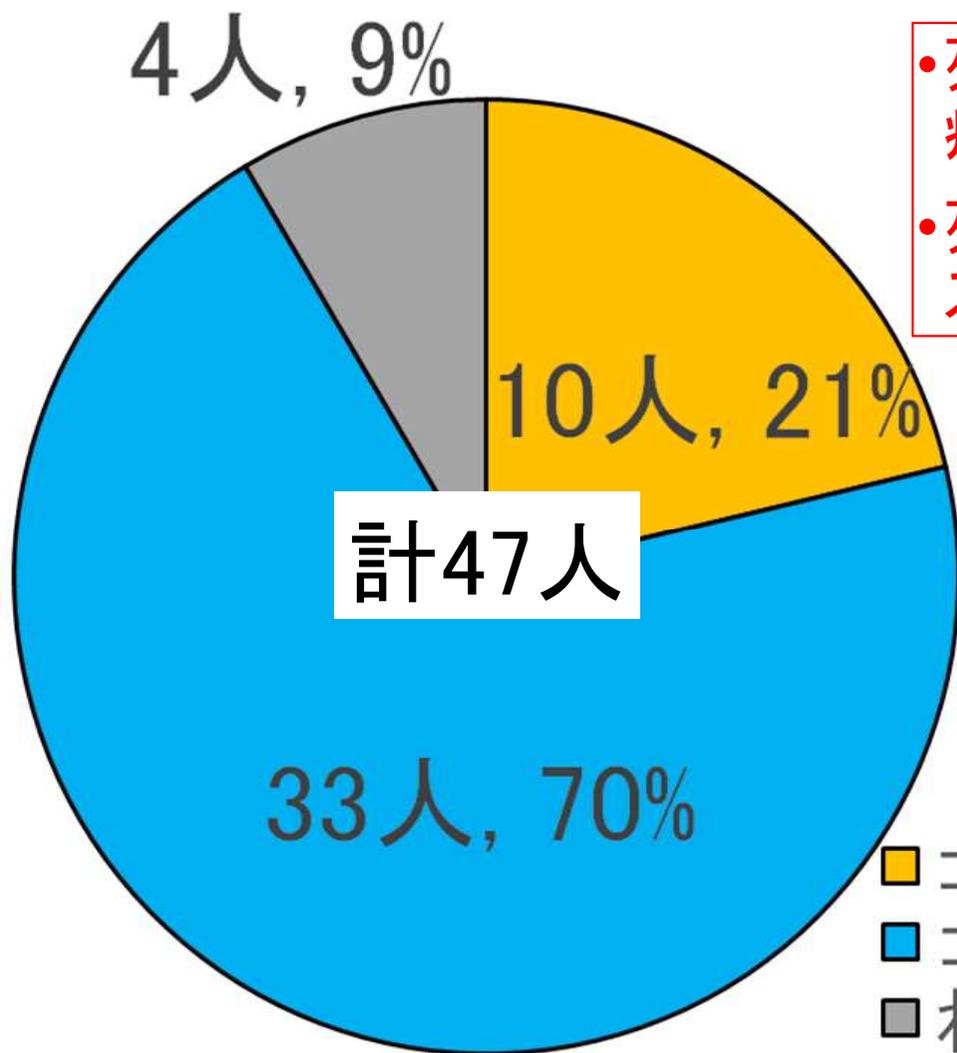
静岡県 新型コロナBA.5波の死亡者の基礎疾患(7/1~8/4)

[政令市を含む全県、複数回答]



静岡県 新型コロナBA.5波の死亡者の死因(7/1~8/4)

[政令市を含む全県]

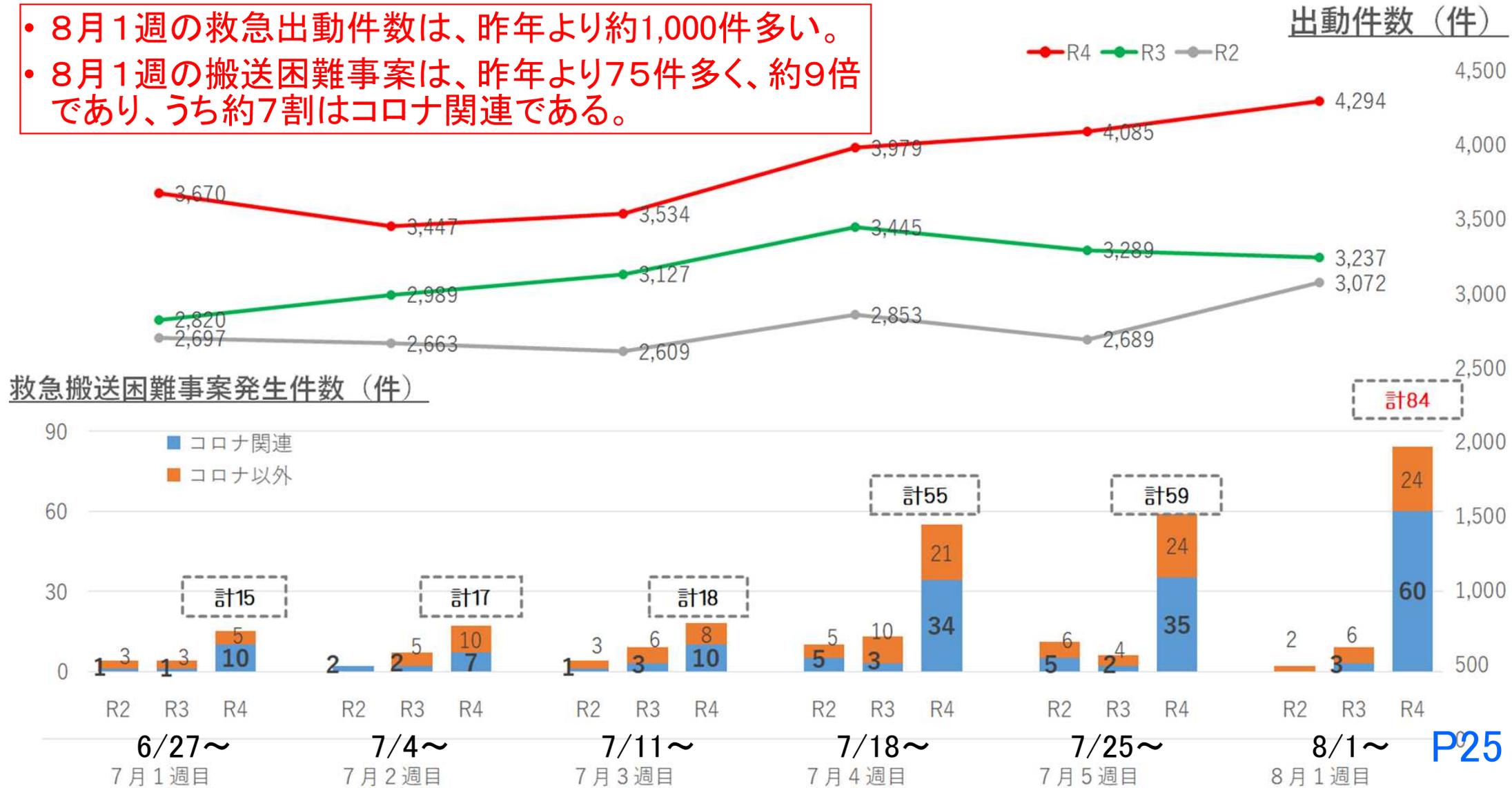


- 死亡者の約2割が、新型コロナウイルス感染症が主たる死亡の要因。
- 死亡者の少なくとも7割は、新型コロナウイルス感染症が主たる死亡の要因ではない。

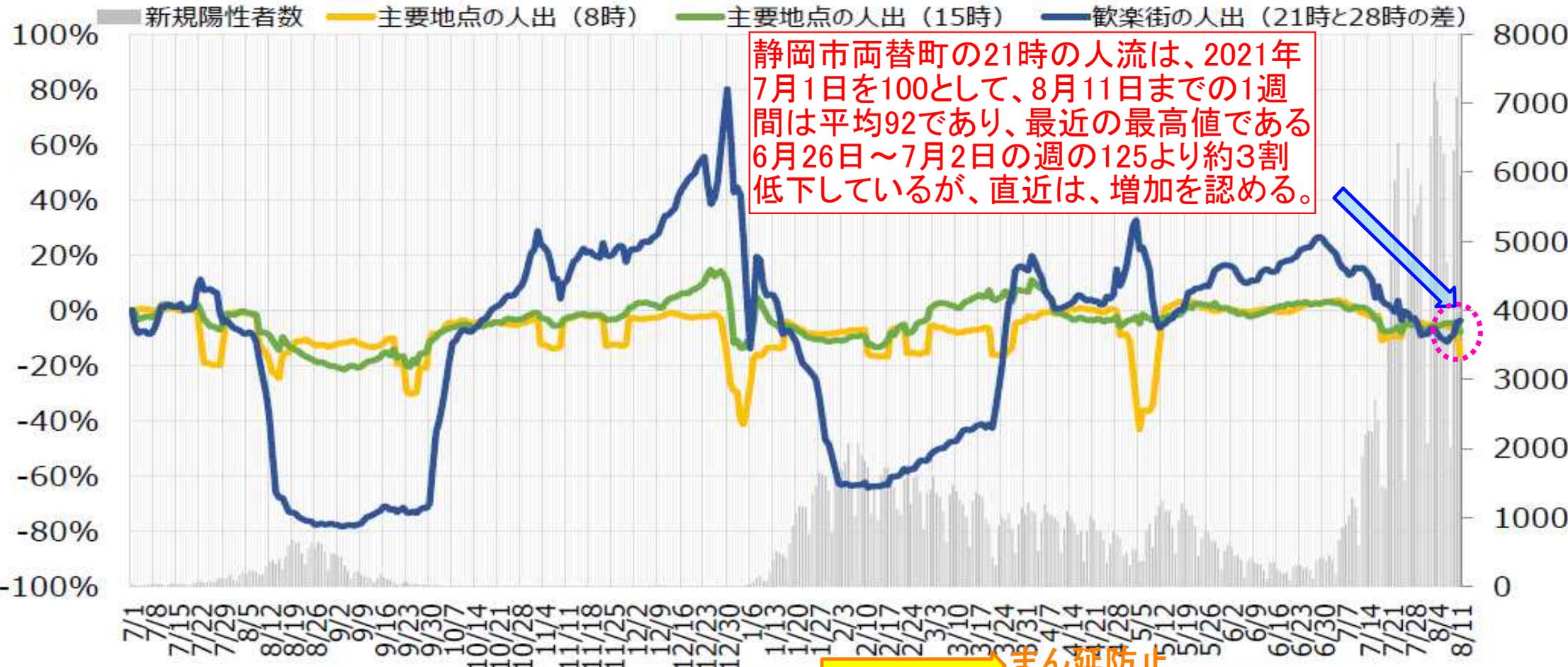
- コロナ感染症が主たる死亡の要因
- コロナ感染症が主たる死亡の要因でない
- わからない

静岡県 救急出動件数と搬送困難事案件数(6/27~8/7)

- 8月1週の救急出動件数は、昨年より約1,000件多い。
- 8月1週の搬送困難事案は、昨年より75件多く、約9倍であり、うち約7割はコロナ関連である。



静岡市両替町の人流の状況（8/11時点）



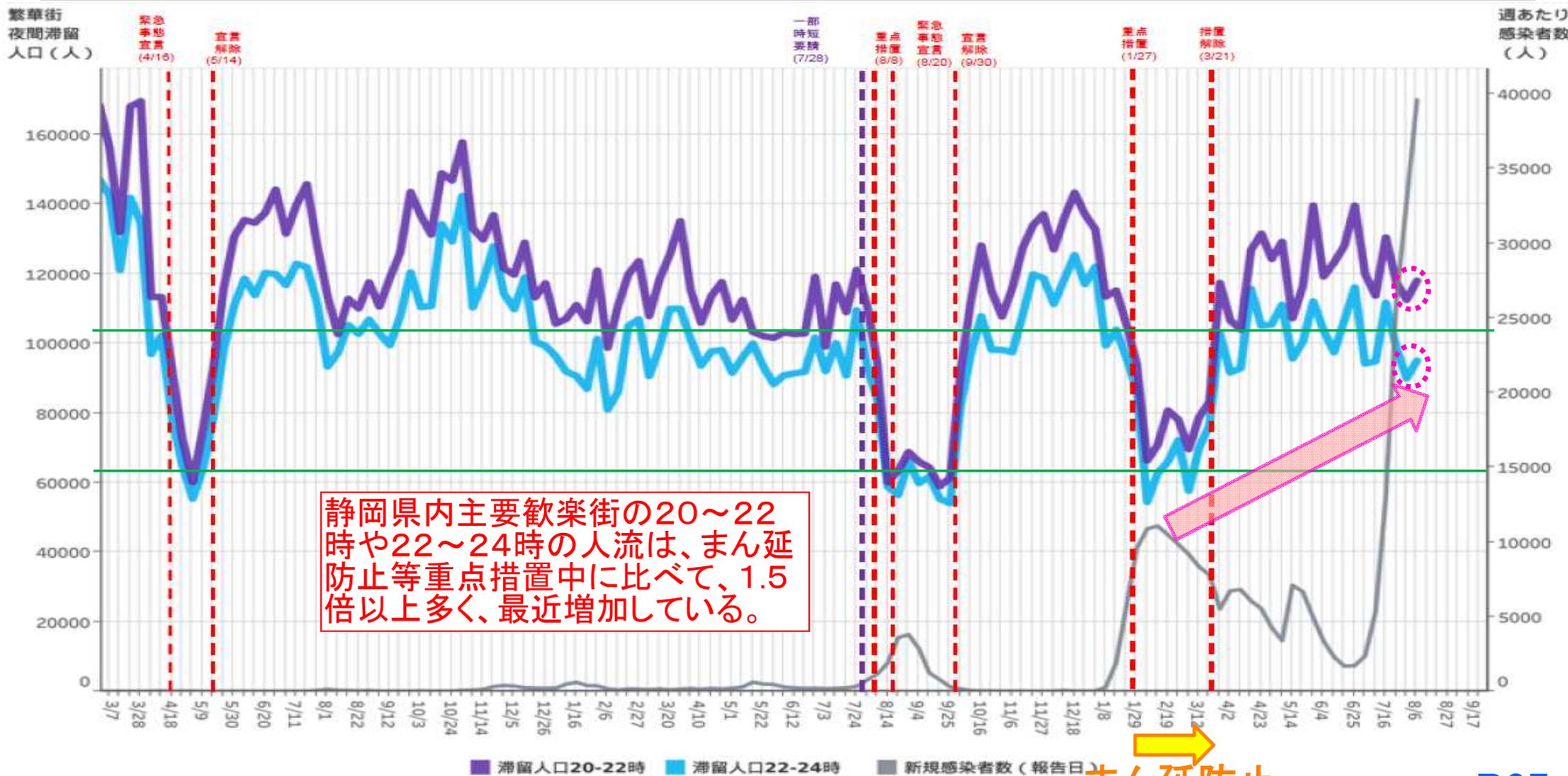
| | | | |
|-----------------------|------|-----|-----|
| 直近の対7月1日比増減率（ 8月11日 ） | 8時 | 15時 | 21時 |
| | -17% | -8% | -4% |

※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

静岡県 掛川駅,沼津駅,静岡駅,浜松駅,富士市吉原の人流の状況 (8/6時点)



静岡県内主要歓楽街の20~22時や22~24時の人流は、まん延防止等重点措置中に比べて、1.5倍以上多く、最近増加している。

まん延防止

P27

対象都道府県：22 静岡県

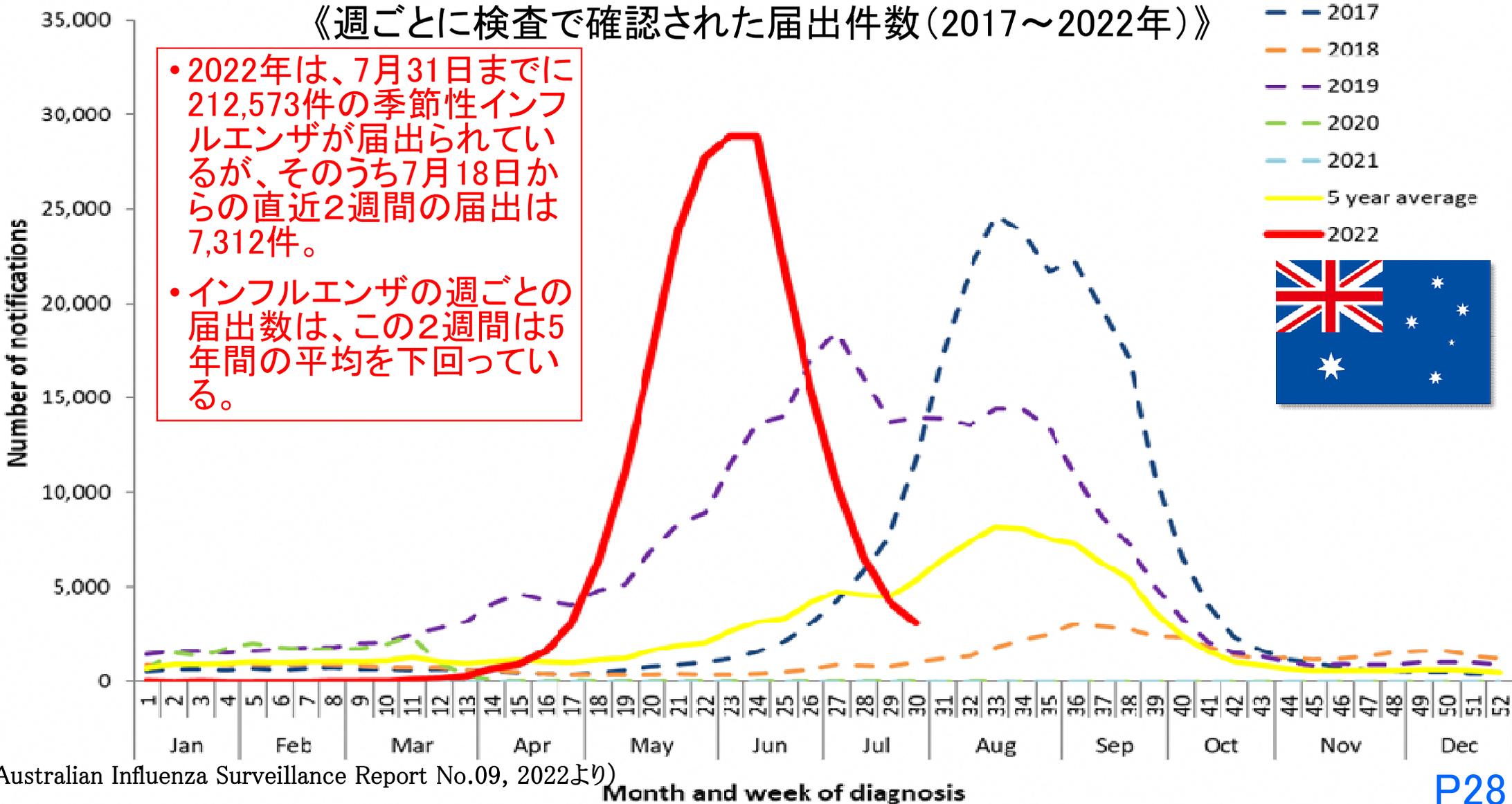
対象繁華街：掛川駅・沼津駅南・静岡駅・浜松駅・富士市吉原

都道府県別新規感染者数出典：NHK「都道府県別の感染者数」<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

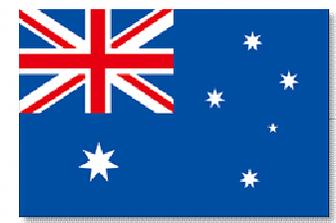
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/31時点)

《週ごとに検査で確認された届出件数(2017~2022年)》



• 2022年は、7月31日までに212,573件の季節性インフルエンザが届出られているが、そのうち7月18日からの直近2週間の届出は7,312件。

• インフルエンザの週ごとの届出数は、この2週間は5年間の平均を下回っている。

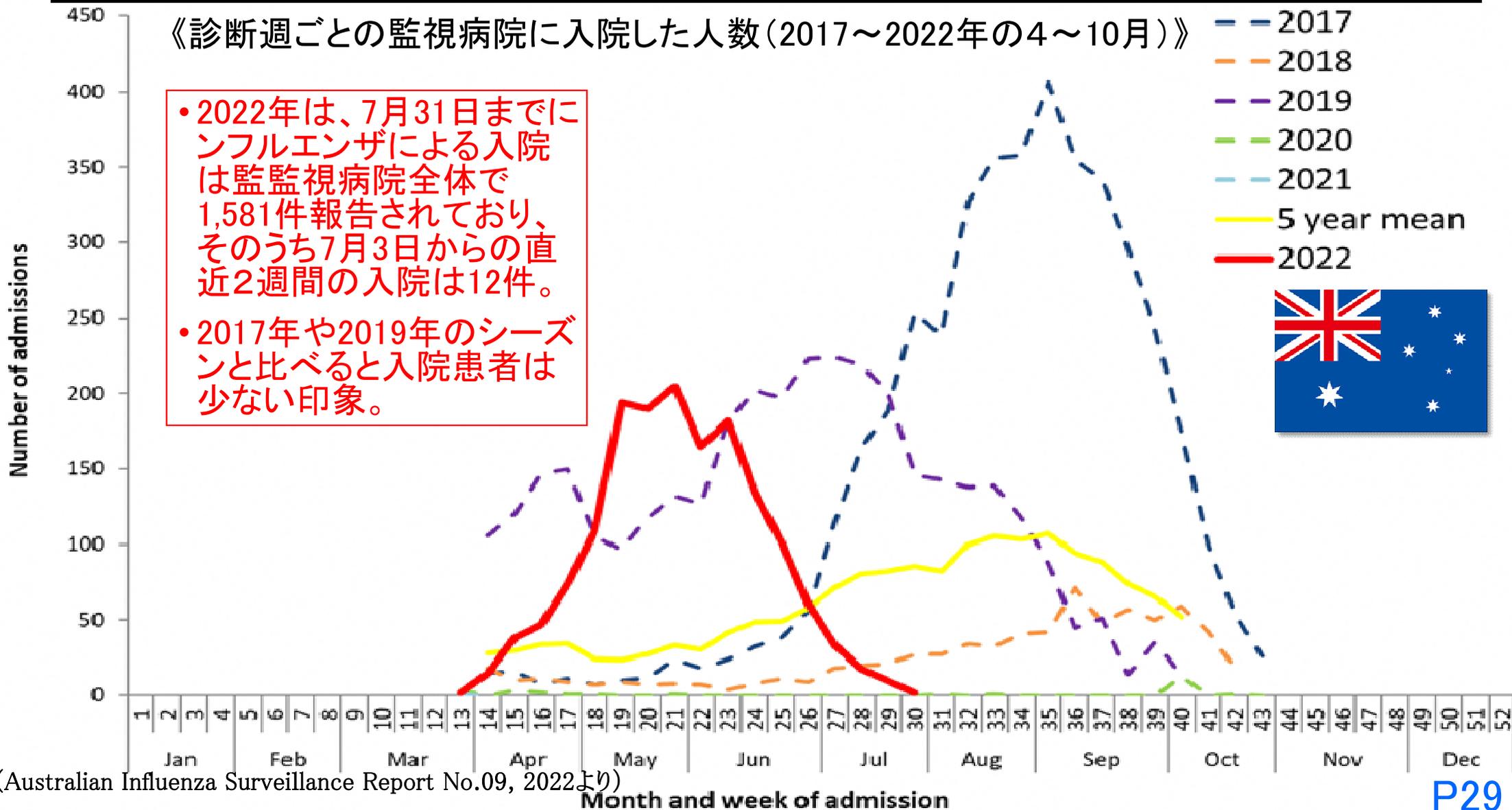


(Australian Influenza Surveillance Report No.09, 2022より)

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの入院状況(7/31時点)

《診断週ごとの監視病院に入院した人数(2017~2022年の4~10月)》

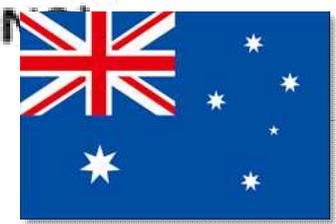
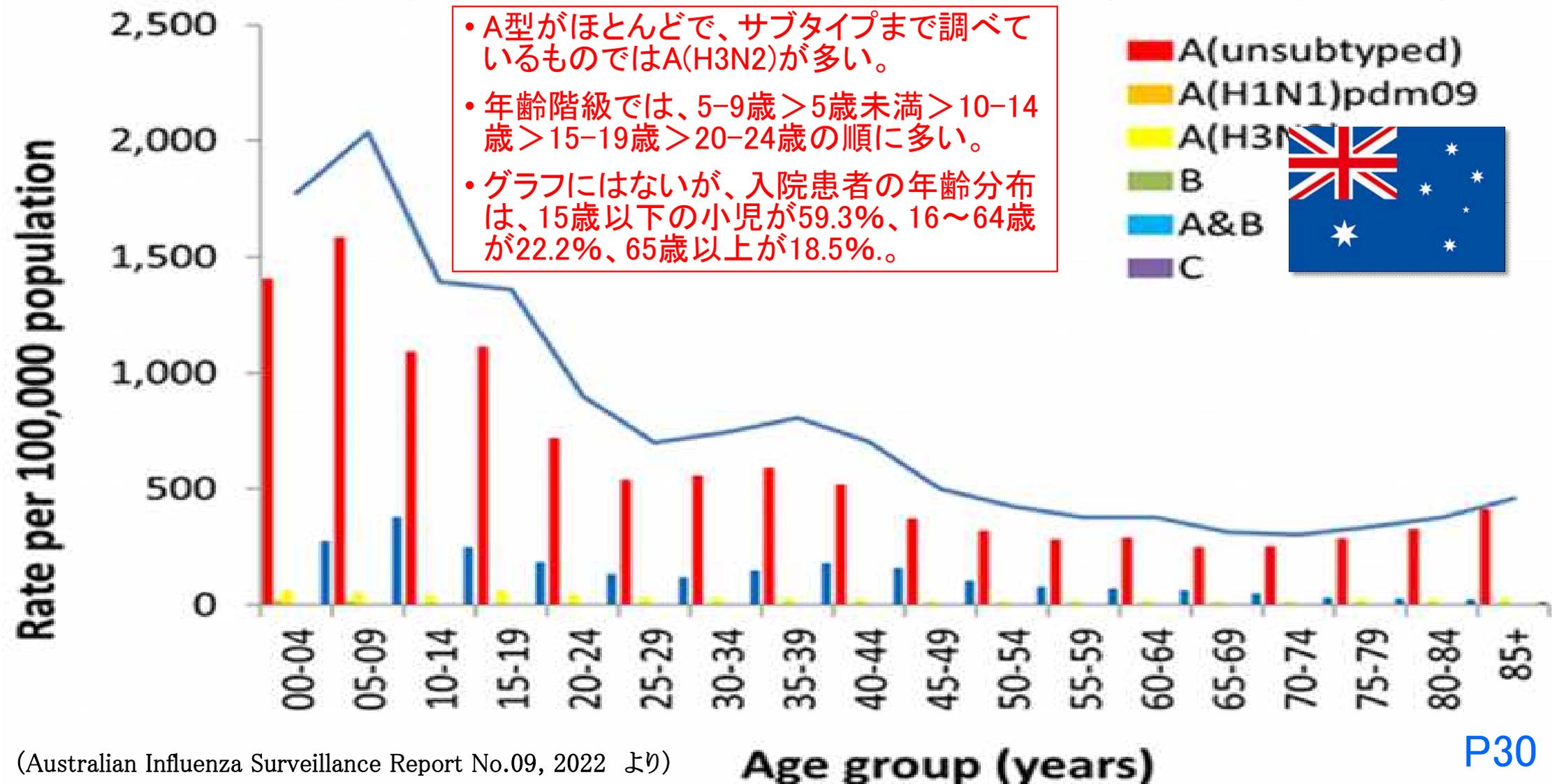
- 2022年は、7月31日までにインフルエンザによる入院は監視病院全体で1,581件報告されており、そのうち7月3日からの直近2週間の入院は12件。
- 2017年や2019年のシーズンと比べると入院患者は少ない印象。



(Australian Influenza Surveillance Report No.09, 2022より)

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/31時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日～7月17日)》

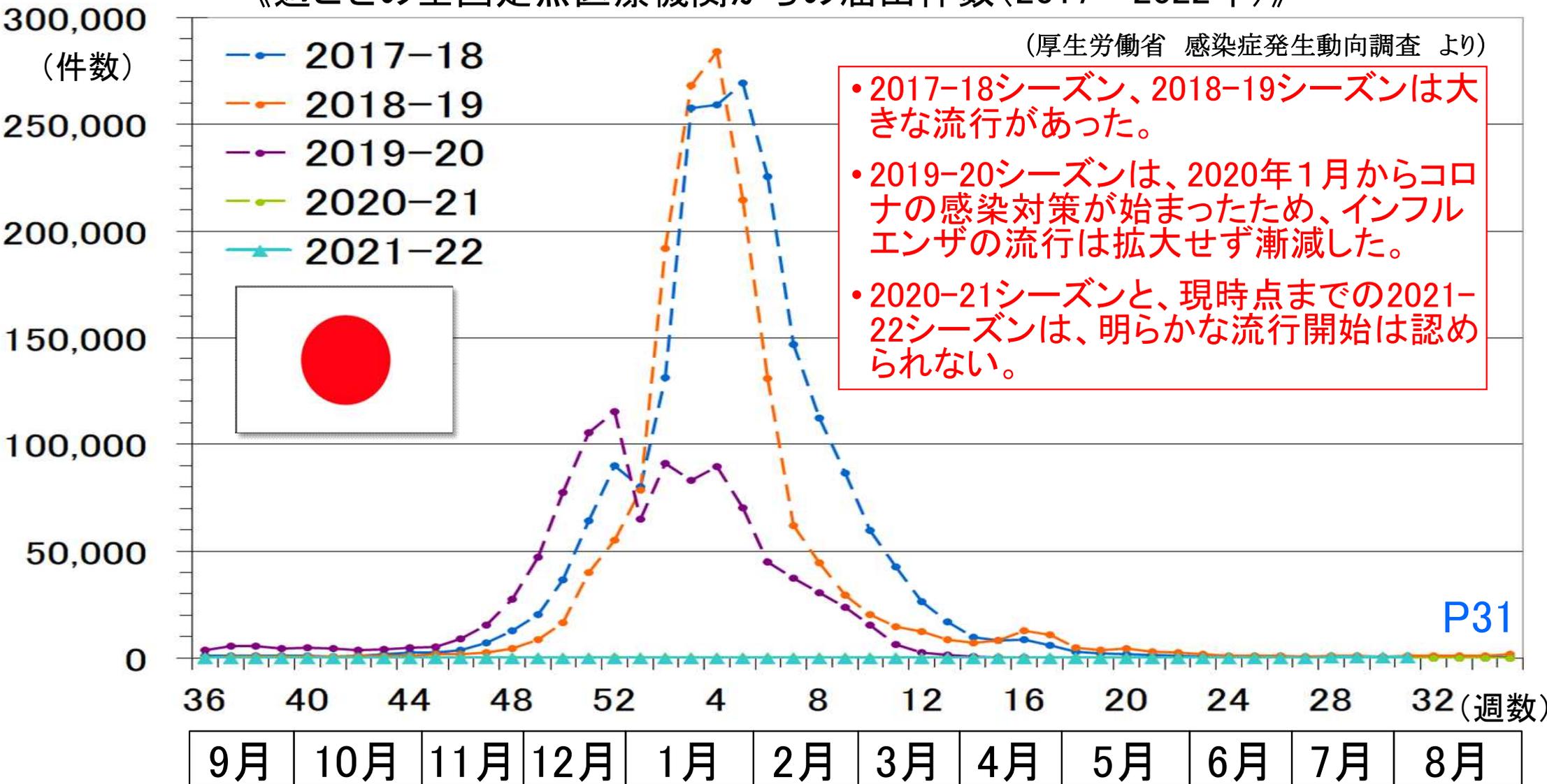


(Australian Influenza Surveillance Report No.09, 2022 より)

日本の季節性インフルエンザの流行状況(8/7 第31週時点)

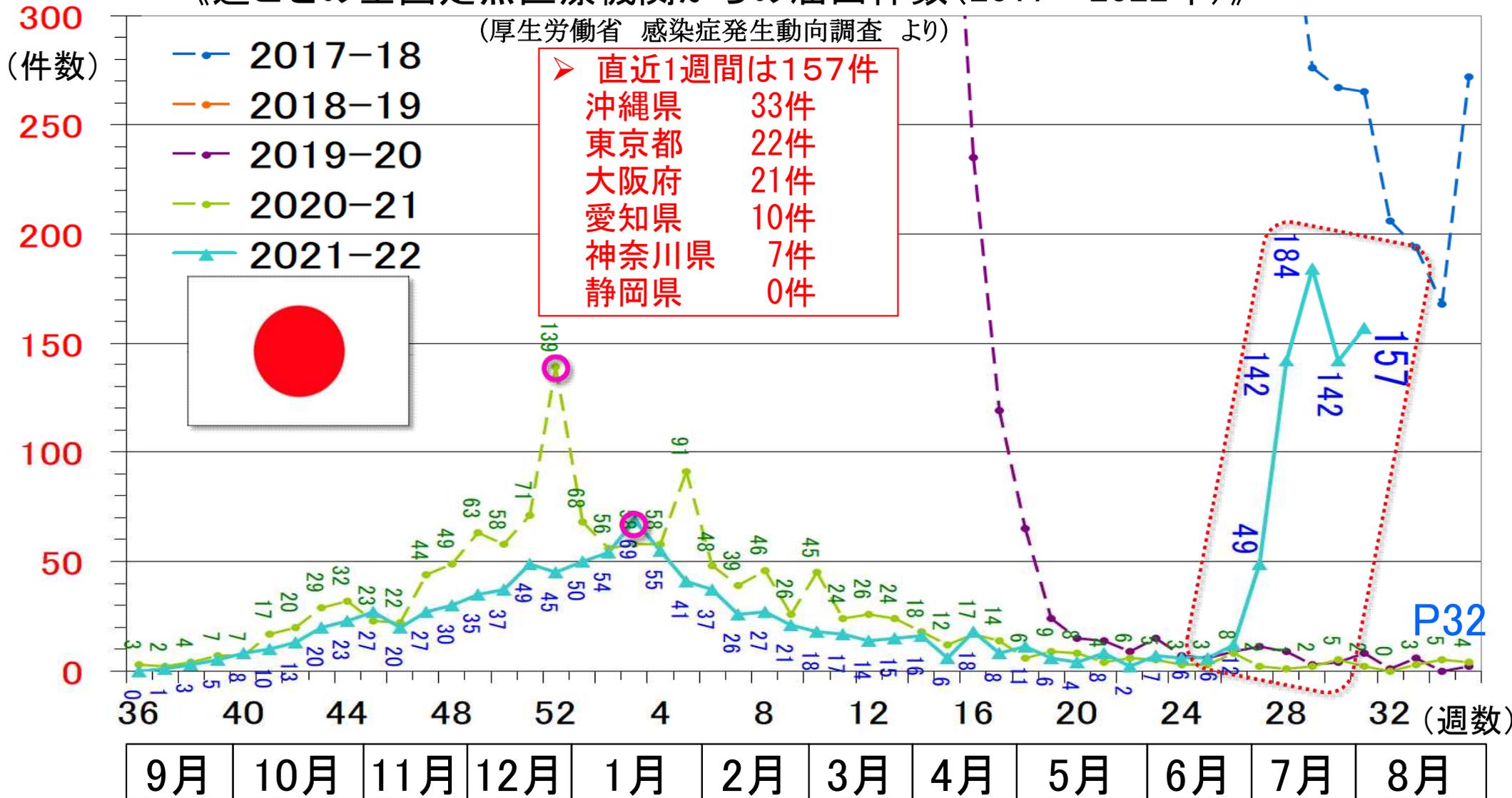
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



日本の季節性インフルエンザの流行状況(8/7時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



今後の感染者数増減の要因は



増加 ↑ 要因

減少 ↓ 要因

BA.5への置き換わり

3,4回目接種者数増加

**マスク無しで会話する
時間 × 相手人数**

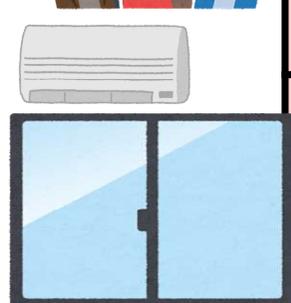
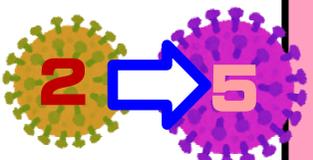
増

減

**エアコンで
閉めきり**

換気

**こまめに
窓開け**



BA.5感染大爆発による医療ひっ迫警報発令中

**現状：医療側は、医療体制維持に最大限努力
していますが、外来の制限、入院・手術の延
期等、通常診療への支障が出始めています**

【県民のみなさまへお願い】

**今、病気やケガをすると通常の医療を受けら
れない可能性がとて高まっています**

**熱中症や水・山の事故、交通事故等は注意し
て予防していただき、持病のある方は悪化し
ないよう内服治療の継続等をお願いします**

家族にコロナを持ち込まないBA.5対策強化を

※特に、高齢の家族にうつさないように注意を!

①人混みや換気悪い空間への外出を避ける

家族各自が感染リスクのある場所へ行かない

②外食は普段一緒に食べる家族のみで

マスク会食が守れない会食には行かない



③重症化しないよう家族皆でワクチン接種

子供は2回接種、大人は3,4回目接種を早く!

帰省する場合は、その前に接種をすませる

④症状がかぜ並みの場合は受診を控える

数日経過を見て普段のかぜより重ければ受診



新型コロナウイルス感染疑いの子ども/大人の受診相談目安

発熱,カゼ症状に加えて**注意すべき状態のどれか**がある場合には医療機関に受診の相談を!

- ① **1歳未満 (65歳以上)**
- ② **通院中の病気**がある (基礎疾患がある)
- ③ **ぐったり**している
- ④ **げりやおうと**があり、**おしっこ**が少ない
- ⑤ **けいれん**した、**ぼーっ**として**反応**がない
- ⑥ **呼吸**が**速い**、**息**が**苦し**そう、**息**苦しく動けず
- ⑦ **顔色**が**悪い** (白い、青い)

